

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化行政一般事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計					
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	文化振興・国際交流費					
	事業	文化行政推進事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5607			
個別計画			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
			根拠法令・要綱等	明石市事務分掌条例、明石市事務分掌規則			
			実施方法	直営	○	補助・助成	その他
				委託		指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	文化行政の一般管理事務及び市職員
	意図（どういう状態にしたいのか）	文化行政の一般管理事務を円滑に行う。

事業内容	<平成25年度> 文化行政の一般管理事務を行う。
	<平成26年度> 文化行政の一般管理事務を行う。
	<平成27年度> 文化行政の一般管理事務を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	805	4,410	5,215	0	0	0	5,215				
26当初予算	836	3,720	4,556	0	0	0	4,556	正規	0.40	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26決算	844	3,720	4,564	0	0	0	4,564	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	730	3,800	4,530	0	0	0	4,530	任期付	0.20	合計	0.60

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地旅費	37		旅費	近接地旅費	100
需用費	事務用品、コピー用紙等	184	需用費	事務用品、コピー用紙等	310		
使用料及び賃借料	コピー使用料等	623	使用料及び賃借料	コピー使用料等	320		
	合計		844	合計	730		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-001	事務事業名	文化行政一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
限られた予算の中で、文化行政の一般管理事務を遂行している。引き続き、効果的な事務推進に努める。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 002				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 19 年度	
	事業	文化行政推進事業							
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
個別計画	文化芸術創生基本計画			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
			委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組むなど、文化芸術活動が盛んになるための基盤をつくる。
事業内容	<平成25年度>	明石文化芸術創生会議を2回開催。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。
	<平成26年度>	明石文化芸術創生会議を2回開催。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。
	<平成27年度>	明石文化芸術創生会議を開催予定(3回開催予定)。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。 基本計画の中間見直し。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	3,071	6,640	9,711	0	0	0	9,711				
26当初予算	3,383	3,280	6,663	0	0	0	6,663	正規	0.45	パート	0.00
26決算	2,972	3,280	6,252	0	0	0	6,252	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	3,883	3,690	7,573	0	0	0	7,573	任期付	0.00	合計	0.45

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	文化芸術創生会議委員報酬	109		297	報酬	文化芸術創生会議委員報酬
旅費	文化芸術創生会議出張旅費	10	630	報償費	指導謝礼	630	
需用費	用紙代・消耗品等	87	105	需用費	用紙代・消耗品等	105	
役務費	文化芸術創生会議等音声反訳	56	130	役務費	文化芸術創生会議等音声反訳	130	
委託料	基本計画に基づく事業委託料	2,700	2,700	委託料	基本計画に基づく事業委託料	2,700	
使用料及び賃借料	会議室使用料	10	21	使用料及び賃借料	会議室使用料	21	
合計			2,972	合計			3,883

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-002	事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果						
指標で表せない成果						
明石文化芸術創生基本計画に基づく、実施計画を作成し、文化の息づくまちづくりを推進するために具体的な事業を展開している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
				×	
現状の課題・今後の事業展開方針等					
文化芸術創生基本計画推進事業については、明石文化芸術創生基本計画やアクションプランに基づいて実施するもので、第3者機関である明石文化芸術創生会議にて評価・検証を行っている。有効性や効率性を常に念頭に置き、「今すべき事業」「推進しなければならない事業」を精査し、スクラップアンドビルドを徹底して事業実施しており、当事業の内容は今必要と判断しているものばかりである。今後も、明石文化芸術創生会議からの提言を踏まえ、スクラップアンドビルドに努め、費用削減についても検討する。					

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	芸術祭等開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 003				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費							
	項	総務管理費							
	目	文化振興・国際交流費							
	事業	文化芸術振興事業							
事業所管課		文化・スポーツ部文化振興課							
連絡先		(078)918-5607							
自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 46 年度					
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
	2-4 文化芸術の振興								
個別計画	文化芸術創生基本計画		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
				委託	○	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民						
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の文化芸術活動を支援することにより、市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組む機会を提供し、もって本市の文化芸術活動の一層の振興を図る。また、次世代への文化の継承や文化に触れる機会を提供する。						

事業内容	＜平成25年度＞	① 市芸術祭 明石吹奏楽のタベ、明石ステージアート2013、邦舞・邦楽のつどい、いけばな展（こどもいけばな体験も合わせて開催）、音楽のつどい、茶会（親子茶道体験も合わせて開催）、美術展（第60回を記念し、例年の賞に加え第60回記念賞を設けた。）を開催。 ② 明石現代作家展 明石市美術展審査員・実行委員による作品展を開催。 ③ 文化芸術活動を行う団体に対して、明石文化芸術創生財団を通じて、助成を行った。						
	＜平成26年度＞	① 市芸術祭 明石吹奏楽のタベ、明石ステージアート2014、民謡・民舞と邦楽のつどい、いけばな展（こどもいけばな体験も合わせて開催）、音楽のつどい、茶会（親子茶道体験も合わせて開催）、美術展を開催。 ② 明石現代作家展 明石市美術展審査員・実行委員による作品展を開催。 ③ 文化芸術活動を行う団体に対して、明石文化芸術創生財団を通じて、助成を行った。						
	＜平成27年度＞	① 市芸術祭 <ul style="list-style-type: none"> ・明石吹奏楽のタベ……………8月23日（日）市民会館大ホールで開催予定。 ・邦舞・邦楽のつどい…………… 10月18日（日）生涯学習センター子午線ホールで開催予定。 ・明石ステージアート2015……… 10月25日（日）市民会館大ホールで開催予定。 ・茶会……………10月31日（土）生涯学習センターで開催予定。親子茶道体験も合わせて開催予定。 ・音楽のつどい…………… 11月3日（祝・月）市民会館大ホールで開催予定。 ・いけばな展…………… 11月7日（土）～8日（日）生涯学習センターで開催予定。 こどもいけばな体験も合わせて開催予定。 ・美術展……………前期：11月18日（水）～22日（日）、後期：25日（水）～29日（日）文化博物館で開催予定。 ② 明石現代作家展……市美術展審査員・実行委員による作品展。平成28年3月9日（水）～13日（日）文化博物館で開催予定。 ③ 文化芸術活動を行う団体に対して、明石文化芸術創生財団を通じて、助成を行う。						

事業のコスト （単位：千円）	事業費	人件費 （参考値）	総事業費 （参考値）	財源内訳				27年度人員配置（人）				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
25決算	6,920	10,015	16,935	0	0	165	16,770	26年度決算事業費明細				
26当初予算	7,200	5,850	13,050	0	0	200	12,850		正規	0.40	パート	0.00
26決算	7,200	5,850	13,050	0	0	155	12,895	再任用	0.00	その他	0.00	
27当初予算	7,200	5,490	12,690	0	0	200	12,490	任期付	0.85	合計	1.25	

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	明石市芸術祭等開催委託	7,200		委託料	明石市芸術祭等開催委託	7,200
	合計		7,200		合計		7,200

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-003	事務事業名	芸術祭等開催事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果					
芸術祭をより充実させることによって市民の芸術にふれる機会をふやし、市民の生活に潤いをあたえている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
				×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
芸術祭は、各文化団体の日頃の活動の発表の場を提供するとともに参加や鑑賞することで文化意識の向上を図ることが出来る必要性が高い事業である。 また、平成23年度から「いけばな展」については“こども体験教室”、「茶会」については“親子茶道体験”を実施。24年度から「美術展」については“ジュニアの部”を創設、「音楽のつどい」については中学校まで出演者の枠を広げるなど、こども達が日頃の成果を発表できる場を提供している。 今後もこども達の文化芸術への参加を促進するとともに、各事業内容や予算等を精査しながら費用削減についても検討する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	文芸祭開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 004							
			分割/統合										
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容										
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課									
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607									
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 49 年度							
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等		文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例								
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法		直営	○	補助・助成			その他		
個別計画		文化芸術創生基本計画		委託	○	指定管理							

事業の目的	対象（誰を・何を）											
	市民											
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）											
	市民の文芸に対する関心と認識を深め、創作意欲の向上や創作活動へのきっかけづくりを図るとともに、文芸作品の発表の機会を提供する。											
事業内容	<平成25年度> 例年の自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)に加え、「わがふるさと」についても募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。 また優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。第40回を記念し、作品集、表彰式のさらなる充実を図った。 応募作品数 7,803点。											
	<平成26年度> 自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。 また優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。作品集、表彰式のさらなる充実を図った。 応募作品数 9,342点。											
	<平成27年度> 自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成予定。今年度から中学生以下については、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部の3部門に増設し募集。 また優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。作品集、表彰式のさらなる充実を図る。											

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
25決算	1,920	5,655	7,575	0	0	432	7,143	正規	0.35	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00		
26当初予算	1,940	4,570	6,510	0	0	420	6,090	再任用	0.00	その他	0.00		
26決算	1,920	4,570	6,490	0	0	446	6,044	任期付	0.35	合計	0.70		
27当初予算	1,940	3,780	5,720	0	0	420	5,300						

区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
				委託料	文芸祭開催委託	1,920
合計		1,920		合計		1,940

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-004	事務事業名	文芸祭開催事業
------	----------------	-------	---------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	応募人数	作品の応募人数(一般・ジュニア含む)	人	3,650	5,592	
	指標で表せない成果					
文芸祭の実施により、市民及び子供たちの文芸に対する関心と認識を深め文芸作品への市民の文化意識の一層の向上をはかる。日頃から創作活動に取り組んでいる市民には日頃の成果の発表の場となる。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性				×	×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
文芸祭は“文化の息づく街づくり”の一環として文芸に対する関心を深め創作のきっかけづくりとなっている。 応募人数の増加を受け、平成24年度から平成26年度まで、ジュニアの部に「ジュニア奨励賞」を設け、賞の数を増やした。 平成27年度からは中学生以下でまとめてジュニアの部として募集していたものを、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部の3部門に増やし、応募しやすい条件に変更し、より一層こども達の創作意欲を高め、励みとなるよう実施した。 今後もこども達の文芸活動への参加を促進するとともに、予算や実施方法等をさらに精査し費用削減に努める。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	街角イベント推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 005		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 15 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野	実施方法	直営	補助・助成	その他		
	2-4 文化芸術の振興		委託	○	指定管理		
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	音楽の活動をするグループや個人に発表の場を提供するとともに、市民が身近な場所で音楽に触れ親しむ機会を提供する。また、賑わいのあるまちづくりにも資する。

事業内容	＜平成25年度＞	明石文化芸術創生財団への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」などの街角イベントを開催。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介。 ① あかしふれあいコンサート…毎月1回、アスパア明石アトリウムコートやイオン明石2番街海の広場、イトーヨーカドー等で開催。 ② まちかどミュージシャン出演のイベント「まちミュージックフェスティバル」を開催。
	＜平成26年度＞	明石文化芸術創生財団への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」などの街角イベントを開催。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介。 ① あかしふれあいコンサート…毎月1回、イオン明石2番街海の広場で開催。 ② まちかどミュージシャン出演のイベント「まちミュージックフェスティバル」を開催。
	＜平成27年度＞	明石文化芸術創生財団への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」などの街角イベントを開催予定。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介予定。 ①あかしふれあいコンサート…毎月1回、イオン明石2番街海の広場で開催予定。 ②まちかどミュージシャン出演のイベントを開催予定。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	820	2,075	2,895	0	0	0	2,895	正規	0.15	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	820	2,050	2,870	0	0	0	2,870	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	820	2,050	2,870	0	0	0	2,870	任期付	0.05	合計	0.20
27当初予算	820	1,360	2,180	0	0	0	2,180				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		委託料	街角イベント開催委託		820		委託料
	合計		820		合計		820

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-005	事務事業名	街角イベント推進事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果						

指標で表せない成果

ホール施設以外のまちかど等で市民が気軽に音楽に触れ親しむ機会を提供できている。また、芸術活動を行おうとする市民に発表の場を提供している。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性

現状の課題・今後の事業展開方針等

街角イベントの経費は、「あかしふれあいコンサート」にかかる費用が大半を占める。「あかしふれあいコンサート」等の街角イベントは、市民生活に密着した場所で市民が気軽に文化芸術に出会い関わることのできる機会を提供し、賑わいのあるまちづくりにも貢献している。「あかしふれあいコンサート」の出演者は、市内の中学・高校の吹奏楽部が中心で、子どもたちが日頃の練習成果を発表する貴重な機会ともなっている。
 今後も、事業の適正な実施に努めていく。

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 006			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607					
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度			
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
個別計画		文化芸術創生基本計画								
事業の目的	対象（誰を・何を）									
	市民									
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進し、市民に質の高い音楽の鑑賞機会を提供する。									
<p><平成26年度> 世界的に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演 あわせて、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 4月28日(月)市民会館大ホールで公演。 同日に松が丘小学校で特別授業を実施。</p> <p><平成27年度> 世界的に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演を開催 あわせて、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施予定。 9月16日(水)市民会館大ホールで公演予定。 同日に明石小学校で特別授業を実施予定。</p>										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.30	パート	0.00
26当初予算	5,767	2,180	7,947	0	0	3,292	4,655	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	5,375	2,180	7,555	0	0	3,930	3,625	任期付	0.05	合計	0.35
27当初予算	6,795	2,590	9,385	0	0	3,292	6,093				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	託児謝礼	6		報償費	託児謝礼	10
需用費	公演パンフレット印刷代、傘袋購入代、ケータリング代	73	需用費	公演パンフレット印刷代、出演者ケータリング	110		
役務費	舞台人件費、チケット販売手数料、託児保険料	555	役務費	舞台人件費、チケット販売手数料、託児保険料	631		
委託料	出演料、警備委託料	4,598	委託料	出演料、警備委託料	5,644		
使用料及び賃借料	会場使用料、付属設備使用料、空調使用料	143	使用料及び賃借料	会場使用料、付属設備使用料、空調使用料	400		
合計			5,375	合計			6,795

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-006	事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演
------	----------------	-------	------------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>世界的に有名な佐渡裕氏指揮による公演は、市民にとって質の高い文化芸術に触れ親しむ機会を提供する貴重な事業である。また、佐渡氏による子ども達への音楽指導は、音楽の楽しさや素晴らしさを感じてもらい、音楽文化のすそ野を拡大し、次世代を担う子ども達の育成につながっている。</p> <p>今後も引き続き誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図りつつ、費用削減についても検討していく。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	財団支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 007				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607					
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度			
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等						
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営		補助・助成	○	その他	
	2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
個別計画									

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石文化芸術創生財団
	意図（どういう状態にしたいのか）	文化の息づくまちづくりを推進するため、市の文化芸術全般にわたる業務を担う明石文化芸術創生財団に対して支援を行う。

事業内容	<平成25年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。
	<平成26年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。
	<平成27年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	16,460	3,735	20,195	0	0	0	20,195	正規	0.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	19,854	2,460	22,314	0	0	0	22,314	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	19,888	2,460	22,348	0	0	0	22,348	任期付	0.05	合計	0.25
27当初予算	25,398	1,770	27,168	0	0	0	27,168				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	中間支援組織活動委託	343			委託料	中間支援組織活動委託
使用料及び賃借料	空調使用料	34		負担金補助及び交付金	財団運営補助金	25,055	
負担金補助及び交付金	財団運営補助金	19,511					
	合計		19,888		合計		25,398

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-007	事務事業名	財団支援事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>明石文化芸術創生基本計画においては、重点施策として「コーディネート機能を持つ中間支援組織の設置」を掲げている。明石文化芸術創生財団が、中間支援組織としての役割を果たすことで、市民全体の文化芸術振興の基盤づくりを行い、「文化の息づくまちあかし」の実現に資する効果は高いと認められる。</p> <p>今後は、財団が行う事業について協議を深め、中間支援組織としての機能が十分果たせるよう連携しながら支援を継続していく。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民交響楽団支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 008		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	補助・助成	○	その他
	2-4 文化芸術の振興			委託	指定管理		
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	音楽文化のすそ野の拡大と質の向上を図るため、市民力を活用したアマチュアの市民管弦楽団の運営に対する支援を行い、「音楽のあふれるまちづくり」を一層推進する。

事業内容	<平成25年度>	7月7日(日) 第6回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 8月24日(土) なつやすみファミリーコンサート してる！してる！クラシック♪ 9月8日(日) 第14回定期演奏会市民会館大ホールで開催。 2月2日(日) 第7回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催。 3月16日(日) 第15回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動26回(ジュニア・オーケストラ分含む)。
	<平成26年度>	4月29日(火) 指揮体験ワークショップ発表演奏会を西部市民会館ホールで開催。 6月22日(日) 「たこフィル倶楽部」会員対象「ありがとうコンサート」を市民ホールで開催。 7月13日(日) 第8回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 9月21日(日) 第16回定期演奏会市民会館大ホールで開催。 12月23日(火・祝) クリスマスコンサートを市民会館大ホールで開催。 2月8日(日) 第9回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催。 3月22日(日) 第17回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動10回。
	<平成27年度>	6月21日(日) 「たこフィル倶楽部」会員対象「ありがとうコンサート」を開催。 7月12日(日) 第10回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 9月20日(日) 第18回定期演奏会市民会館大ホールで開催予定。 2月14日(日) 第11回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催予定。 3月20日(日) 第19回定期演奏会を市民会館大ホールで開催予定。 ・アウトリーチ活動を実施予定。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	3,000	1,245	4,245	0	0	0	4,245	正規	0.20	パート	0.00
26当初予算	2,700	820	3,520	0	0	0	3,520	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	2,700	820	3,520	0	0	0	3,520	任期付	0.00	合計	0.20
27当初予算	2,400	1,640	4,040	0	0	0	4,040				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	運営補助		2,700		負担金補助及び交付金
	合計		2,700		合計		2,400

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-008	事務事業名	市民交響楽団支援事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	アウトリーチ活動の回数	定期演奏会のほかに市民にどれだけ鑑賞の機会を提供できているか。	回	26	10	
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×		×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>「音楽のあふれるまちづくり」推進のため、市民交響楽団はシンボリック的存在となっており、音楽文化のすそ野の拡大や市民の芸術鑑賞機会の拡充にも貢献している。</p> <p>市民交響楽団の事務局を担っていた明石文化芸術創生財団と運営のあり方について協議し、平成27年度から「明石フィルハーモニー協会」を設立。市民交響楽団が自主運営していく体制に移行。</p> <p>これまでも市補助金を段階的に削減しているが、今後も費用削減について検討していく。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石将棋フェスティバル開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 009				
				分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容							
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課						
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607						
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度				
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令・要綱等		文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法		直営	○	補助・助成		その他	
		2-4 文化芸術の振興				委託	○	指定管理			
個別計画	文化芸術創生基本計画										

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民									
	意図（どういう状態にしたいのか）	伝統文化である将棋に親しむとともに、豊かな人間性を身につける機会を提供する。									

事業内容	<平成25年度>	青少年将棋大会、プロ棋士による指導対局については、明石文化芸術創生財団に移管して実施。（参加費有料） ホールプログラムは明石文化芸術創生財団に委託して開催。（参加費無料） 2月8日（土）小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会を生涯学習センターで開催。 2月9日（日）女流棋士による指導対局。ホールプログラムとして明石市長杯青少年将棋大会有段者クラス優勝者の表彰と女流棋士との記念対局、詰将棋早解き大会、女流記念対局を開催。 親子将棋入門教室については、明石文化芸術創生財団に移管し、夏休み、春休みに期間に実施した。										
	<平成26年度>	青少年将棋大会、プロ棋士による指導対局については、明石文化芸術創生財団が実施。（参加費有料） ホールプログラムは明石文化芸術創生財団に委託して開催。（参加費無料） 2月14日（土）小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会を生涯学習センターで開催。 2月15日（日）プロ棋士による指導対局。ホールプログラムとして明石市長杯青少年将棋大会有段者クラス優勝者の表彰と女流棋士との記念対局、女流ペア将棋選手権を開催。										
	<平成27年度>	青少年将棋大会、プロ棋士による指導対局を明石文化芸術創生財団に委託して実施予定。（参加費有料） 2月13日（土）小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会、プロ棋士による指導対局を生涯学習センターで開催予定。										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	500	2,490	2,990	0	0	0	2,990				
26当初予算	700	2,270	2,970	0	0	0	2,970	正規	0.35	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
26決算	450	2,270	2,720	0	0	0	2,720	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	600	3,130	3,730	0	0	0	3,730	任期付	0.10	合計	0.45

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	将棋フェスティバル開催委託	450			委託料	将棋フェスティバル開催委託
	合計		450		合計		600

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-009	事務事業名	明石将棋フェスティバル開催事業
------	----------------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	参加申込み	参加申込み人数	人	450	263	
	指標で表せない成果					
将棋を通じ、社会の基本的なルールや思いやり、礼儀を学ぶとともに伝統文化に触れる機会を提供している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×				
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>将棋フェスティバルは、次代を担う子ども達の育成に役立つ有意義な事業であり、平成23年には現役高校生のプロ棋士が明石市に誕生し、市民の関心も高まっている。</p> <p>平成25年度からは、「青少年将棋大会」「プロ棋士による指導対局」について、参加費を徴収して開催するなど予算削減を図っているが、今後は子ども達の育成だけでなく、より一層将棋の普及につながるよう内容を精査し、費用削減にも努める。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石薪能開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 010				
			分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容							
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課						
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607						
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 元 年度				
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等		文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法		直営	○	補助・助成	○	その他	
個別計画	文化芸術創生基本計画		委託		指定管理					

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供することにより伝統文化に親しむ機会の拡充を図る。
事業内容	＜平成25年度＞	第16回明石薪能を明石公園で開催。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表。（参加者19名） 10月5日（土）入場者数 約1,200人。
	＜平成26年度＞	第17回明石薪能を明石公園で開催。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表。（参加者18名） 10月4日（土）入場者数 約1,200人。
	＜平成27年度＞	第18回明石薪能を明石公園で10月4日（日）開催予定。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	5,000	5,240	10,240	0	0	0	10,240	正規	0.45	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	5,000	3,630	8,630	0	0	0	8,630	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	5,000	3,630	8,630	0	0	0	8,630	任期付	0.15	合計	0.60
27当初予算	3,000	4,080	7,080	0	0	0	7,080				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		負担金補助及び交付金	明石薪能開催事業補助金		5,000		負担金補助及び交付金
	合計		5,000		合計		3,000

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-010	事務事業名	明石薪能開催事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果 伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供できている。					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×		×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等 優れた伝統芸能を守り、次代へと継承していくことは、市の重要な責務であると認識している。しかし、明石公園にて組立式能舞台を用いて薪能を開催するにあたっては、毎回組立・撤去に多額の経費を必要とし、費用対効果を考えると効果的な事業運営が行えているとはいえないと考えている。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名 子ども・親子対象芸術鑑賞事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 011		
		分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計					
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	文化振興・国際交流費					
	事業	文化芸術振興事業					
施策分野		2 教育・文化分野		事業の分割/ 統合の内容		事業所管課 文化・スポーツ部文化振興課	
		2-4 文化芸術の振興					
個別計画 文化芸術創生基本計画		根拠法令 ・要綱等 文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		連絡先		(078)918-5607	
				自治/法定		自治事務	
実施方法		直営		○		補助・助成	
		委託		指定管理		その他	
事業 の 目的	対象（誰を・何を）						
	市民						
	意図（どういう状態にしたいのか）						
次代を担う子どもたちに芸術鑑賞の機会を提供するとともに、芸術に触れる機会の少ない乳幼児を抱える子育て世代の鑑賞機会の拡充を図る。							
事業 内容	<平成25年度> 妊婦、0歳から1歳の乳児と母親が参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を開催。 平成25年9月8日 明石市立西部市民会館ホール 入場者数 75組 223名 平成25年9月18日 明石市生涯学習センター子午線ホール 入場者数 84組 207名						
	<平成26年度> 妊婦、0歳から1歳の乳児と母親が参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を開催。 平成26年9月11日 明石市立西部市民会館ホール 入場者数 63組 166名 平成26年9月23日 明石市生涯学習センター子午線ホール 入場者数 90組 216名						
	<平成27年度> 妊婦、0歳から1歳の乳児と母親が参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を開催。 平成27年7月4日 明石市立西部市民会館ホール 入場者数 89組 260名 平成27年7月11日 明石市生涯学習センター子午線ホール 入場者数 77組 215名 平成28年2月20日 明石市立西部市民会館ホール 平成28年2月27日 明石市生涯学習センター子午線ホール						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	466	2,075	2,541	0	0	0	2,541				
26当初予算	860	2,680	3,540	0	0	0	3,540	正規	0.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26決算	613	2,680	3,293	0	0	0	3,293	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	1,158	2,160	3,318	0	0	0	3,318	任期付	0.20	合計	0.40

26年度決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	27年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	出演謝礼、司会謝礼		444		報償費
	需用費	事務用品購入、チラシ等印刷費	8		需用費	チラシ等印刷費	62
	役務費	舞台人件費、ピアノ調律代	41		役務費	舞台人件費	166
	使用料及び賃借料	会場使用料、著作権使用料	120		使用料及び賃借料	会場使用料	260
	合計		613		合計		1,158

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-011	事務事業名	子ども・親子対象芸術鑑賞事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	入場者数	音楽鑑賞会に来られた人数	人	430	382	

指標で表せない成果

普段、芸術鑑賞の機会が乏しい子育て世代の方を対象に子どもとともに参加できる鑑賞会を開催し誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図れる。
乳児とともに鑑賞するクラシック音楽会(BMM)では、「赤ちゃんが泣いても、周りや演奏者に遠慮せずに音楽を鑑賞できた」と大変好評を得た。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
			×		

現状の課題・今後の事業展開方針等

「Baby Meets Musicあかし」は、赤ちゃんと一緒に育児中の両親が文化芸術に触れる機会を提供する事業である。
今後も、芸術鑑賞の機会が乏しい子育て世代の方を対象に、子どもとともに参加できる鑑賞会を開催し、誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図りつつ、費用削減について検討していく。

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	東播磨文化団体連合会との共催事業			新規/継続	H27新規	整理番号	0130001000 - 012			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	総務費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 27 年度		
	事業	文化芸術振興事業			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
施策分野					実施方法	直営	補助・助成	○	その他	
個別計画					委託	指定管理				

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	東播磨・北播磨各地域で活動している文化芸術団体に対し、発表と交流の場を提供するとともに、地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供し、東播磨・北播磨地域の文化芸術の振興を図る。
事業内容	北播磨・東播磨の8市3町(明石市・加古川市・高砂市・三木市・小野市・西脇市・加西市・加東市・稲美町・播磨町・多可町)の文化団体連合会で構成される東播磨文化団体連合会が事業主体。コーラス大会、みんよう大会、芸能祭、選抜美術展、大茶会等の開催を各市町持ち回りで開催している。平成27年度は「東はりまコーラス大会」を明石市で開催予定。	
	<<第40回東はりまコーラス大会>>(単年度 新規事業) 開催時期:平成28年1月30日(土) 会 場:明石市立市民会館 大ホール	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.30	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.30
27当初予算	400	2,460	2,860	0	0	0	2,860				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	合計		0		合計		400

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-012	事務事業名	東播磨文化団体連合会との共催事業
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成28年度において本市での開催の予定なし。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	姉妹都市交流推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 013		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	目	文化振興・国際交流費	連絡先	(078)918-5607			
	事業	姉妹都市交流事業	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度	
施策分野	4 生活・環境分野		根拠法令・要綱等	姉妹都市提携			
	4-6 都市間交流・国際交流の推進			実施方法	直営	○	補助・助成
個別計画			委託			指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、アメリカ合衆国バレホ市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、バレホ市と必要な連絡調整を行う。
事業内容	<平成25年度>	・姉妹都市提携45周年を記念し、明石市代表者がバレホ市を訪問。 人数：2人 期間：平成25年8月6日～平成25年8月10日(5日間)
	<平成26年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成27年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	1,074	3,735	4,809	0	0	0	4,809	正規	0.35	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	141	2,050	2,191	0	0	0	2,191	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	151	2,050	2,201	0	0	0	2,201	任期付	0.00	合計	0.35
27当初予算	141	2,870	3,011	0	0	0	3,011				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	0		0	報償費	通訳謝礼
役務費	文書翻訳料等	151	151	役務費	文書翻訳料	101	
	合計		151		合計		141

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-013	事務事業名	姉妹都市交流推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
指標で表せない成果							
バレホ市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>姉妹都市交流事業は、これまで45年間にわたり明石市と米国バレホ市の市民による交流を主体として実施してきた実績がある。バレホ市へ市内中高生を派遣し現地でのホームステイ体験や異文化交流など、子どもたちに国際感覚を身に着ける機会を提供できるのも、明石市とバレホ市が姉妹都市提携を結んでいることの成果と言える。</p> <p>平成25年度は姉妹都市提携45周年記念事業として明石市の代表団を派遣したが、周年事業でない27年度は派遣を実施しない。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	友好都市交流推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 014				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	事業	友好都市交流事業							
施策分野	4 生活・環境分野		根拠法令・要綱等	友好都市提携					
	4-6 都市間交流・国際交流の推進			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他
個別計画			委託		<input type="radio"/>	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	友好都市無錫市との継続的な市民間交流や両市公式団による相互訪問などを通じて両市の相互理解と友好、親善を深める。
事業内容	<平成25年度>	<ul style="list-style-type: none"> ・明石市友好訪中団 人数:2人 期間:平成25年8月29日～31日(3日間) ・明石市中学生選抜吹奏楽訪中団 人数:中学生57人、引率教師、市随行、通訳、看護師ほか 計69人 期間:平成25年8月27日～31日(5日間) ・無錫市友好交流団 人数:6人 期間:平成25年9月25日～9月26日(2日間) ・無錫市医療衛生交流団(研修生) 人数:3人 期間:平成25年11月5日～11月23日(19日間)
	<平成26年度>	<ul style="list-style-type: none"> ・明石市友好訪中団(無錫市国際友好都市交流会参加) 人数:2人 期間:平成26年10月20日～21日(2日間) ・無錫市江南中学校吹奏楽交流団 人数:中学生62人、引率教師、通訳 計73人 期間:平成26年8月21日～26日(6日間) ・無錫市友好交流団 人数:6人 期間:平成26年4月14日～16日(3日間) ・無錫市研修生 人数:3人 期間:平成27年1月17日～2月3日(18日間)
	<平成27年度>	<ul style="list-style-type: none"> ・明石市友好訪中団 人数:2人 期間:平成27年7月28日～30日(3日間) ・無錫市友好交流団 人数、時期未定 ・無錫市研修生 人数、時期未定 ・明石市青少年ジャズダンス交流団 人数:中高生21人、引率者(通訳、看護師ほか) 計29人 時期:平成27年7月28日～8月1日(5日間) ・友好都市提携35周年事業事前協議団 人数、時期未定

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	4,486	14,110	18,596	0	0	0	18,596	正規	1.10	パート	0.00
26当初予算	4,679	13,530	18,209	0	0	0	18,209	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	3,212	13,530	16,742	0	0	0	16,742	任期付	0.00	合計	1.10
27当初予算	5,939	9,020	14,959	0	0	0	14,959				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	250		報償費	通訳謝礼	555
旅費	訪中旅費	611	旅費	訪中旅費	1,483		
需用費	消耗品等	334	需用費	消耗品等	560		
役務費	文書翻訳料	26	役務費	文書翻訳料	41		
委託料	受入・派遣事業等委託	1,737	委託料	受入・派遣事業等委託	2,800		
使用料及び賃借料	ホテル使用料	254	使用料及び賃借料	ホテル使用料	500		
	合計	3,212		合計	5,939		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-014	事務事業名	友好都市交流推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
	指標で表せない成果						
無錫市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
友好都市・中国無錫市とは、これまで33年間にわたり文化・スポーツによる市民間交流をしてきた実績がある。今後さらなる市民間交流を進めるためにも、明石市と中国無錫市の友好交流が必要不可欠なものとなっている。 本事業は無錫市との連絡調整に必要とされる最小限の事務費を計上している。今後も、無錫市との市民間交流を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	国際交流推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 015			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 18 年度
	事業	国際交流事業						
施策分野	4 生活・環境分野 4-6 都市間交流・国際交流の推進	根拠法令・要綱等	明石市国際交流協会設立					
個別計画			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
		委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民（在住外国人を含む）
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の国際理解を深め、多文化共生・地域国際化を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広く市民に国際交流について普及啓蒙するとともに、幅広い国際交流を推進する。 ・国際交流促進事業（主な内容は下記①～③）を明石市国際交流協会へ委託し、多文化共生・地域国際化を進める。 ①国際交流・協力啓蒙事業（国際交流ボランティアの募集・育成 など） ②多文化共生事業（国際理解講演会、小中学校へのゲストティーチャーの派遣、日本語学習会「いろはクラブ」の開催 など） ③国際交流活動助成事業（最大5万円を市民団体に助成） 	
	<p><平成25年度>（3月31日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会員数648人、ボランティア登録人数延べ208人 ②ゲストティーチャー派遣2件4人、通訳・翻訳ボランティア登録者71人 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1252回 ③国際交流活動助成 4件 <p><平成26年度>（3月31日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会員数700人、ボランティア登録人数延べ192人 ②ゲストティーチャー派遣、通訳・翻訳ボランティア登録者64人 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1164回 ③国際交流活動助成 3件 <p><平成27年度>（年度末見込み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会員数720人、ボランティア登録人数延べ200人 ②ゲストティーチャー派遣、通訳・翻訳ボランティア登録者数65人 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1200回 ③国際交流活動助成 3件 	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
25決算	8,921	3,735	12,656	0	0	0	12,656	27年度人員配置（人）	正規	0.65	パート	0.00
26当初予算	8,984	8,200	17,184	0	0	0	17,184		再任用	0.00	その他	0.00
26決算	8,921	8,200	17,121	0	0	0	17,121		任期付	0.00	合計	0.65
27当初予算	8,984	5,330	14,314	0	0	0	14,314					

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	20	通訳謝礼		20	報償費	40
旅費	21	出張旅費	21	旅費	114	出張旅費	114
需用費	74	消耗品等	74	需用費	90	消耗品等	90
役務費	14	携帯電話使用料	14	委託料	750	国際交流促進事業委託	750
委託料	8,788	国際交流促進事業委託	8,788	負担金補助及び交付金	7,882	国際交流協会運営補助	7,882
使用料及び賃借料	4	施設使用料	4	その他	108		108
合計			8,921	合計			8,984

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-015	事務事業名	国際交流推進事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	国際交流協会会員数	国際交流についての市民への啓発が進み、国際交流に関する理解や重要性の認識が深まることにより、国際交流協会の会員数が増える。	人	648人	660人	
	国際交流協会ボランティア「いろはクラブ」活動実績	多文化共生社会が進むにつれて、国際交流協会の基幹事業である日本語学習会「いろはクラブ」をはじめとするボランティアの活動が活発になる。	回	1252回	1250回	
指標で表せない成果						
市民の国際交流に対する理解を深めることで、地球上には様々な国や地域、民族があり、多様な考え方を持つ人々がそれぞれの価値観に基づいて暮らしていることを理解し、お互いに尊重していこうという多文化共生社会の考え方が普及している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×	×				
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>国際交流推進事業は、明石市国際交流協会に市内在住外国人への日本語学習会や国際交流ボランティアの育成等を事業委託し、多文化共生社会づくりや地域の国際化を推進している。言葉や生活習慣の違いから地域になじみにくいと感じている外国人をサポートし、地域での暮らしを支えており、地域の安全・安心にもつながっている。</p> <p>同協会は設立から8年が経過し、設立当初から展開してきた多文化共生事業に加え、諸外国との市民間交流を推進するため国際交流事業を実施しており、市としては今後も同協会と協働で国際交流を推進する。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	諸外国との交流事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 016			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	総務費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度		
	事業	国際交流事業			根拠法令・要綱等					
施策分野		4 生活・環境分野			実施方法		直営	○	補助・助成	その他
		4-6 都市間交流・国際交流の推進					委託		指定管理	
個別計画										

事業の目的	対象（誰を・何を）									
	市民									
意図（どういう状態にしたいのか）										
姉妹都市・友好都市提携先以外の諸外国との国際交流を推進し、市民の国際理解を深める。										

事業内容	<平成25年度> ・諸外国からの訪問団の受入 <平成26年度> ・諸外国からの訪問団の受入 <平成27年度> ・諸外国からの訪問団の受入									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	1,660	1,660	0	0	0	1,660	正規	0.15	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	440	2,870	3,310	0	0	0	3,310	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	179	2,870	3,049	0	0	0	3,049	任期付	0.00	合計	0.15
27当初予算	440	1,230	1,670	0	0	0	1,670				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		報償費	通訳謝礼		85		報償費
	需用費	消耗品等	85		需用費	消耗品等	110
	使用料及び賃借料	施設使用料	9		委託料	受入事業委託	200
					使用料及び賃借料	施設使用料	20
	合計		179		合計		440

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-016	事務事業名	諸外国との交流事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果						
指標で表せない成果						
諸外国との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解が深まっている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
諸外国との交流事業費については、明石市に来られる外国からの賓客を歓迎する際に必要な経費であり、賓客の対応をするのは市として大切な仕事であるため、今後も事業を継続実施する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化博物館運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 017				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5608			
	目	文化博物館費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 3 年度	
	事業	文化博物館運営事業							
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則					
個別計画	文化芸術創生基本計画			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
					委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="radio"/>	

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立文化博物館
	意図（どういう状態にしたいのか）	明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・保管・展示を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。

事業内容	事業の目的のために、展覧会、貸館業務、施設維持管理業務、その他の業務を行う。	
	①指定管理者による展覧会の実施	平成25年度 特別展2回、特別企画展1回、企画展4回、共催展1回 観覧者数85,907人 平成26年度 特別展2回、特別企画展1回、企画展4回 観覧者数95,638人 平成27年度計画 特別展2回、特別企画展1回、企画展4回 観覧者数75,000人
②指定管理者による貸館事業	平成25年度 ギャラリー(25件、稼働率88.2%、利用者数27,511人)、会議室(42件、稼働率60.0%、利用者数2,582人) 平成26年度 ギャラリー(28件、稼働率81.7%、利用者数26,195人)、会議室(57件、稼働率58.7%、利用者数4,315人)	
③指定管理者による施設維持管理業務の実施	平成25年度 修繕39件 平成26年度 修繕40件	
④指定管理者による博物館資料の整備	資料購入数 平成25年度 1件 平成26年度 2件 寄贈資料の受け入れ 平成25年度 1件 平成26年度 9件	
⑤指定管理者による学校観覧(小・中・特別支援学校)の対応	平成25年度 75校 平成26年度 101校	
⑥指定管理者によるボランティア育成事業	平成25年度 登録人数80人、活動延べ人数961人 平成26年度 登録人数96人、活動延べ人数1,276人	
⑦「さかなクン イラスト展」の開催	明石たこ大使であるさかなクンのイラスト及び公募イラスト等の展示を行う。	
※ ②～⑥については、平成27年度も例年と同様に実施、⑦は新規事業。		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	155,573	11,470	167,043	0	0	1,317	165,726	正規	1.70	パート	0.00
26当初予算	161,788	11,480	173,268	0	0	1,152	172,116	再任用	0.00	その他	0.20
26決算	161,090	11,480	172,570	0	0	1,168	171,402	任期付	0.00	合計	1.90
27当初予算	165,765	14,480	180,245	0	0	1,068	179,177				

区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	選定委員会 委員謝礼	100		報償費	選定委員会 委員謝礼等	270
旅費	選定委員会 委員旅費	0		旅費	選定委員会 委員旅費	10
需用費	協定書印刷製本費等	8		需用費	「さかなクン イラスト展」イベント募集チラシ等	182
委託料	指定管理料	160,980		役務費	「さかなクン イラスト展」コンクール参加賞郵送費ほか	150
使用料及び賃借料	選定委員会 会議室使用料	2		委託料	指定管理料、「さかなクン イラスト展」委託料	164,557
				使用料及び賃借料	「さかなクン イラスト展」パネル使用料等	596
合計		161,090		合計		165,765

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-017	事務事業名	文化博物館運営事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	展覧会観覧者数	質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	人	85,907	95,638	75,000

指標で表せない成果

・明石の歴史や明石にゆかりのある作家の展覧会を実施することにより、郷土への理解を深めることに貢献している。また、貸館として市民の文化芸術の交流、発表の場となっている。

・学校観覧では、実物に触れることで、児童・生徒が学習の理解を深め、新たな興味を抱く場として利用されている。

・公募で登録された博物館ボランティアによる十二単の着付け体験や機織り体験などの活動により、来館者の満足度の向上、世代間の交流、ボランティアの自己実現など、幅広い成果を創出している。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>明石の歴史・文化の調査研究について、市が直接担うことで継続性を担保し、大規模な展覧会、施設の運営、維持管理といった部分は民間のノウハウを活用してより効果的な管理運営を行う業務分割方式の指定管理者制度を平成28年度から導入する。また、指定管理者に対する指導監督体制の見直しを併せて行うことで、経費の縮減も図る。</p> <p>様々な年齢層の市民に対し、質の高い文化芸術に触れ親しむ機会を提供するため、今後も指定管理者のノウハウを活用した展覧会を開催する。また、利用料金収入の一定割合を施設の改善等に充てさせる制度を導入し、利用者への還元を図る。</p> <p>大会議室については、博物館の事業スペースとしては必須のものであることも踏まえながら、簡易ギャラリーとしての利用などに取り組む。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名 市民会館運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 018				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5608					
	目	市民会館費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度			
	事業	市民会館運営事業	根拠法令・要綱等	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市民ホール条例・同条例施行規則					
施策分野		2 教育・文化分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		2-4 文化芸術の振興		委託		指定管理	○		
個別計画		文化芸術創生基本計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立市民会館、明石市立西部市民会館、明石市立中崎公会堂、明石市立市民ホール（以下、「市民会館等」という。）
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、市民ニーズに沿った古典から現代に至る多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。

事業内容	事業の目的のために、貸館業務、自主事業、施設維持管理業務、その他の業務を行う。	
	①指定管理者による貸館事業の実施	平成25年度 市民会館(2,040件、稼働率52.9%、利用者数209,187人) 西部市民会館(628件、稼働率50.2%、利用者数58,969人) 中崎公会堂(1,056件、稼働率62.3%、利用者数21,592人) 市民ホール(418件、稼働率54.8%、利用者数25,445人) 平成26年度 市民会館(1,999件、稼働率51.8%、利用者数218,778人) 西部市民会館(541件、稼働率42.8%、利用者数59,487人) 中崎公会堂(1,005件、稼働率59.3%、利用者数21,960人) 市民ホール(474件、稼働率57.8%、利用者数30,394人)
	②指定管理者による自主事業の実施	平成25年度 45公演61ステージ開催 観覧者数 35,791人 平成26年度 58公演87ステージ 観覧者数 42,701人 平成27年度計画 44公演57ステージ 観覧者数 32,221人
	③指定管理者による施設維持管理業務の実施	平成25年度 修繕70件(市民会館 30件、西部市民会館 31件、中崎公会堂 7件、市民ホール 2件) 平成26年度 修繕60件(市民会館 27件、西部市民会館 24件、中崎公会堂 5件、市民ホール 1件、他 3件)
	④その他の業務	平成25年度 広報紙「しおさい」の発行 96,000部、友の会(549人、法人5団体)、第九合唱団(216人)の育成等の実施 平成26年度 広報紙「しおさい」の発行 101,000部、友の会(343人、法人5団体)、第九合唱団(234人)の育成等の実施
※ ②以外についても、平成27年度も例年と同様に実施。		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	163,833	9,170	173,003	0	0	999	172,004	正規	1.30	パート	0.00
26当初予算	172,045	11,480	183,525	0	0	900	182,625	再任用	0.00	その他	0.80
26決算	171,293	11,480	182,773	0	0	977	181,796	任期付	0.00	合計	2.10
27当初予算	171,060	12,820	183,880	0	0	842	183,038				

区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	選定委員会 委員謝礼	220		需用費	協定書印刷製本費	10
旅費	選定委員会 委員旅費	0		委託料	指定管理料	171,050
需用費	協定書印刷製本費等	19				
委託料	指定管理料	171,050				
使用料及び賃借料	選定委員会 会場使用料	4				
合計		171,293		合計		171,060

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-018	事務事業名	市民会館運営事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	4施設の利用者数	芸術・文化の発表の場としての指標として設定する。	人	315,193	330,619	310,000
	自主事業の入場者数	市民ニーズに沿った多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	人	35,791	42,701	35,000
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな試みとして、「こども落語ワークショップ」で学んだ子ども達を、地域に向向いて行うアウトリーチ事業に参加させるという広がりのある取り組みを行った。市民企画委員会の取り組みについては、初の有料イベントとして「明石再発見コンサート」という、明石の音楽、写真、食を融合した特徴的な催しを行う等、進展が見られる。 ・施設のバリアフリー化を図るため、市民会館会議室前廊下に車いす対応のトイレを設置した。 						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>以下の各施設における課題について、指定管理者と協議を行い、解決を図っていく。</p> <p>（市民会館）市内唯一の大規模ホールを有し、明石市を代表する文化施設として開館以来市民に親しまれてきており、文化の息づくまちあかしの実現のため、市の指導監督のもとに指定管理による効率的な運営を行い、文化芸術に親しむ機会を提供する。</p> <p>（中崎公会堂）現在は、武道やダンスの会場に使用されることが多いが、文化財としてその趣きを活かし、明石らしい自主事業の開催や、新たな貸館利用の開拓を行っていく。</p> <p>（西部市民会館）図書館との複合施設であり、明石市西部地区の文化振興の拠点、地域密着型の文化施設として、利用促進を図っていく。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化財保護調査・啓発事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 019				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	社会教育費			連絡先	(078)918-5629			
	目	社会教育総務費		自治/法定		自治+法定	開始年度	不明	
	事業	文化財保護調査・啓発事業							
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例・明石市文化財保護条例施行規則・明石市文化財審議会規則					
個別計画	あかし教育プラン			実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他
			委託		○	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市内の文化財を保護するとともに、文化財啓発事業を推進することにより、市民の文化財に対する理解を深める。

事業内容	＜平成25年度＞	1 文化財審議会の開催（年2回） 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施（4ヶ所各3回） 3 市指定文化財保護に対する補助 4 「発掘された明石の歴史展」の開催 5 地域文化財の普及活用事業 明石市西部の文化遺産のマップ作りと中部のマップを活用した事業を行った。 6 出前講座の実施
	＜平成26年度＞	1 文化財審議会の開催（年1回） 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施（4ヶ所各3回） 3 県・市指定文化財保護に対する補助（住吉神社楼門屋根瓦の修理ほか） 4 「発掘された明石の歴史展」の開催 5 地域文化財の普及活用事業 明石全域の文化遺産を網羅した資料集の作成と西部の文化遺産のマップを活用した事業を行った。 6 出前講座の実施 7 寺山古墳石室の移転
	＜平成27年度＞	1 文化財審議会の開催（年3回） 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施（4ヶ所各3回） 3 県・市指定文化財保護に対する補助（茨木酒造主屋修繕事業ほか） 4 「発掘された明石の歴史展」の開催 5 出前講座の実施

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	7,142	12,950	20,092	0	0	579	19,513	正規	0.60	パート	0.00
26当初予算	14,711	6,080	20,791	0	6,000	150	14,641	再任用	0.20	その他	0.00
26決算	14,433	6,080	20,513	0	5,864	150	14,499	任期付	0.80	合計	1.60
27当初予算	8,292	7,680	15,972	0	0	160	15,812				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報酬	文化財審議会委員報酬	30		27	報酬	文化財審議会委員報酬
旅費	地域文化財普及活用事業に伴う講師招聘旅費	56	66	旅費	地域文化財普及活用事業に伴う講師招聘旅費	66	
需用費	文化財保護調査用フィルム現像、市内文化財標柱修繕	714	886	需用費	文化財保護調査用フィルム現像、市内文化財標柱修繕等	886	
役務費	文化博物館内執務室及び作業室等電話回線使用料	90	408	役務費	文化博物館内執務室及び作業室等電話回線使用料	408	
委託料	「発掘された明石の歴史展」「明石藩関連資料調査公開」事業等	11,716	4,415	委託料	「発掘された明石の歴史展」「明石藩関連資料調査公開」事業等	4,415	
その他	市指定文化財補助金等	1,827	2,367	その他	市指定文化財補助金等	2,367	
合計			14,433	合計			8,292

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-019	事務事業名	文化財保護調査・啓発事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	企画展「発掘された明石の歴史展」の入館者数	市内で出土した埋蔵文化財の公開に訪れた来館者の数により市民の文化財に対する関心度を図る指標とする。	人	2,100	2,100	2,100
	出前講座「市内の文化財について」の実施回数	市内団体等の要請により行った出前講座の件数により文化財啓発活動の量を示す指標とする。	回 (人)	10 (約300人)	15 (約400人)	15 (約400人)
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
現状の課題・今後の事業展開方針等					
	<p>地域にある文化財を保護・啓発することは、歴史を活用した地域づくりを進め、それを担う地域住民を育てることができることから、今後もこの事業を積極的に推進することにより、より一層の地域づくり・人づくりに寄与する必要がある。発掘調査によって出土した資料や寄贈を受けた明石藩関連の資料の展示公開を図っていく中で、明石の歴史、文化を多くの人に知ってもらい、郷土への愛着を深めてもらう。また、未来を担う小・中学生にも興味をもってもらおうよう、体験学習や出前講座等の機会を増やし、次世代に伝統的な歴史、文化を継承していく。</p>				

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 020			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	社会教育費			連絡先	(078)918-5629		
	目	社会教育総務費		自治/法定		自治事務	開始年度	不明
	事業	埋蔵文化財発掘調査事業						
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例				
	2-4 文化芸術の振興			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
個別計画	あかし教育プラン		委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

事業の目的	対象（誰を・何を）
	市内に所在する埋蔵文化財
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）
	周知の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅等を建築する際に発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存化を図る。開発事業に先立ち、遺跡の存否あるいは範囲の確認のための試掘・確認調査を行うことにより、適切な埋蔵文化財の保護措置をとり、円滑な開発事業の推進を図る。
事業内容	<平成25年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。6件の発掘調査を行った。
	<平成26年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。7件の発掘調査を行った。
	<平成27年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。6件の発掘調査が行われる予定である。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	8,300	7,010	15,310	6,225	0	0	9,085	正規	0.60	パート	0.00
26当初予算	6,776	3,200	9,976	5,250	0	0	4,726	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	6,611	3,200	9,811	5,250	0	0	4,561	任期付	0.60	合計	1.20
27当初予算	5,821	6,480	12,301	4,500	0	0	7,801				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	出土資料鑑定謝礼	0		報償費	出土資料鑑定謝礼	60
旅費	出土資料鑑定に伴う旅費	1	旅費	出土資料鑑定に伴う旅費	10		
需用費	発掘調査に伴う消耗品費	220	需用費	発掘調査に伴う消耗品費	351		
委託料	発掘作業委託	6,390	委託料	発掘作業委託	5,400		
	合計		6,611		合計	5,821	

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-020	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
	指標で表せない成果						
<p>開発事業に先立って確認調査を行うことにより、その調査のデータに基づき、開発業者へ設計変更等を指示し、埋蔵文化財の適切な保護にあたることができています。また、個人住宅の建て替え等による調査では、新たな遺構・遺物が発見され、地域の歴史性の理解を推進している。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>埋蔵文化財の発掘調査は、文化財保護法に基づき、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業であり、継続的に行っていく必要がある。得られた成果をより多くの人に知ってもらい、地域の財産として積極的に活用する手段を講じていくことが課題である。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 021			
				分割/統合						
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	社会教育費		連絡先	(078)918-5629					
	目	社会教育総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	事業	埋蔵文化財発掘調査事業		根拠法令 ・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例					
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	○
		2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
個別計画		あかし教育プラン								
事業 の 目的	対象(誰を・何を)									
	市内に所在する埋蔵文化財									
事業 の 目的	意図(どういう状態にしたいのか)									
	周知の埋蔵文化財包蔵地内の開発に先立ち、事前に発掘調査を行うことにより、資料の適切な保存を図り、地域の歴史・文化の向上に役立てる。									
事業 内 容	<平成25年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、12件の発掘調査を実施した。									
	<平成26年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、6件の発掘調査を行った。									
	<平成27年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、7件の発掘調査を実施する予定である。									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
25決算	1,826	7,010	8,836	0	0	9,370	-534	正規	0.60	パート	0.00	
26当初予算	60,300	10,680	70,980	0	0	64,521	6,459	再任用	0.00	その他	0.00	
26決算	0	10,680	10,680	0	0	1,335	9,345	任期付	2.60	合計	3.20	
27当初予算	60,300	11,680	71,980	0	0	64,521	7,459					
26 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	27 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額					
						需用費	発掘調査に伴う消耗品費及び記録写真現像料等	300				
						委託料	埋蔵文化財発掘業務委託	60,000				
	合計		0		合計	60,300						

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-021	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)
------	----------------	-------	------------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果						
指標で表せない成果						
出土資料の整理を経て、コミセンなどへの出前講座や、展示会などを通して、広く地域住民にその成果を還元することができる。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>文化財保護法に基づき、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業であり、市民の文化や歴史を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。</p> <p>開発事業に伴う発掘調査の場合、それに要する経費は開発事業者が負担することになっている。開発業者と事前に緊密な調整を行う中で、開発事業者が負担する経費や調査期間の縮減を図り、かつ、埋蔵文化財に関する記録を必要十分な形で後世に伝えていく必要がある。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	埋蔵文化財出土資料整理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 022			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	社会教育費			連絡先	(078)918-5629		
	目	社会教育総務費		自治/法定		自治事務	開始年度	不明
	事業	埋蔵文化財出土資料整理事業			根拠法令・要綱等 文化財保護法・明石市文化財保護条例			
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	実施方法	直営	<input type="radio"/>				
個別計画	あかし教育プラン		委託	<input type="radio"/>	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物
	意図（どういう状態にしたいのか）	市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した資料の整理を行い、資料の長期保存と、調査結果を公開することにより、市民に成果を還元し、郷土の歴史・文化財への理解を深め、次世代へ継承していくよう保護意識の啓発を目的とする。
事業内容	<平成25年度>	1 整理作業及び年報の発行等 市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した土器、陶磁器、木器、漆器などの資料の中から重要な資料の実測、トレース、写真撮影を行い、発掘調査の成果を報告書・展示等で公開した。また、大久保町報恩寺跡の出土資料の市指定に向け、調査報告書を刊行した。 2 保存処理業務 出土資料のうち、木器、金属器等劣化しやすい資料の保存処理業務を専門事業者へ委託し、資料の適切な保存に努めた。
	<平成26年度>	1 整理作業及び年報の発行等 市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した土器、陶磁器、木器、漆器などの資料の中から重要な資料の実測、トレース、写真撮影を行い、発掘調査の成果を報告書・展示等で公開した。 2 保存処理業務 寺山古墳等金属器等劣化しやすい資料の保存処理業務を専門事業者へ委託し、資料の適切な保存に努めた。
	<平成27年度>	1 市内で行われた8箇所の埋蔵文化財発掘調査現場から出土した遺物を整理し、年報を発行する。 2 保存処理業務 出土資料のうち、木器、金属器等劣化しやすい資料の保存処理業務を専門事業者へ委託し、資料の適切な保存に努める。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	3,445	17,350	20,795	0	0	0	20,795	正規	0.60	パート	0.00
26当初予算	2,420	17,100	19,520	0	0	0	19,520	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	2,108	17,100	19,208	0	0	0	19,208	任期付	5.00	合計	5.60
27当初予算	1,770	17,920	19,690	0	0	0	19,690				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	出土資料鑑定謝礼	22		45		
旅費	資料調査旅費	62	85				
需用費	出土資料整理用消耗品及び調査報告書作成費	528	510				
委託料	埋蔵文化財出土資料保存処理委託	1,496	1,000				
			130				
	合計	2,108	1,770				

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-022	事務事業名	埋蔵文化財出土資料整理事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果						
指標で表せない成果						
調査成果の公開により、市民の歴史文化に対する理解を促進させることができ、文化財を通して郷土に対する愛着を深めることができる。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う文化財保護法に定められた事業であり、市民の文化や歴史を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。そのため、貴重な埋蔵文化財を劣化から守り、長期的に活用していくためにも、迅速かつ正確な資料整理が必要であり、その成果として埋蔵文化財発掘報告書を刊行する。また、刊行した報告書を用いて高齢者大学やコミセン、地元自治会等で説明会を開催することにより、市民に広く公開し、地域の歴史・文化の普及・啓発を図っていく。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	市史編さん事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 023				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	社会教育費		連絡先	(078)918-5629				
	目	社会教育総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 25 年度		
	事業	市史編さん事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法				
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
個別計画	あかし教育プラン								

事業の目的	対象（誰を・何を）	一般市民・近隣自治体
	意図（どういう状態にしたいのか）	既刊『明石市史』は昭和35年（1960年）に刊行されたものであり、相当の年月が経過している。その間、総合的な歴史研究の進展に加え、明石の歴史を塗り替える新たな貴重な資料も多く発見されており、既存の市史では不十分な内容となっている。そこで、新たな『明石市史』を編さん・刊行する事業を実施し、市史がさまざまな場で活用されることで歴史息づく明石のまちに誇りと愛着をもってもらうとともに、今でなければ記録しえない地域の歴史についても記録化・保存し後世に伝えることを目的とする。
事業内容	<平成25年度>	市史編さん事業に向けて、学識経験者5名による会議を4回開催し、その仕様や市史編さんの体制、市民への普及を図るためのあり方等について検討する。
	<平成26年度>	平成27年度以降に重点的に調査が必要な項目を整理する。また、地域に残る歴史資料をボランティアとともに掘り起こし、調査・研究を行った。 既存歴史資料の洗い出しを行い、調査の過程で明らかになった事業成果について、適宜広報活動・啓発活動に努め、市民に還元した。
	<平成27年度>	各時代の市史の編さんに関わる重要度の高い資料の収集、調査を専門的機関に委託し行う。また、地域に残る歴史資料をボランティアとともに掘り起こし、調査・研究を行う。 既存歴史資料の洗い出しを行い、調査の過程で明らかになった事業成果について、適宜広報活動・啓発活動に努め、市民に還元する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	328	2,490	2,818	0	0	0	2,818	正規	0.30	パート	1.00
26当初予算	4,000	13,660	17,660	0	0	0	17,660	再任用	0.80	その他	0.00
26決算	3,878	13,660	17,538	0	0	0	17,538	任期付	2.00	合計	4.10
27当初予算	4,127	12,180	16,307	0	0	0	16,307				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		報償費	市史編さん実行委員会委員に対する謝礼		149		報償費
	需用費	コピー用紙代等	65		旅費	専門委員会議出席旅費	200
	委託料	調査研究委託料	3,350		需用費	コピー用紙代等	50
	使用料及び賃借料	コピー機使用料	25		役務費	電話回線等使用料	150
	備品購入費		289		委託料	調査研究委託料	3,500
					使用料及び賃借料	コピー機使用料	27
	合計		3,878		合計		4,127

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-023	事務事業名	市史編さん事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
市史刊行に向けて既存の市史に加わる新たな資料の掘り起しと調査を進めていく。優先度の高いものから効果的に調査しデータを蓄積していく。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化財資料調査研究(緊急雇用)事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 024		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	教育費					
	項	社会教育費					
	目	社会教育総務費					
	事業	文化財資料調査研究(緊急雇用)事業					
施策分野		根拠法令・要綱等					
個別計画		実施方法		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 26 年度
				直営		補助・助成	
		委託	<input type="radio"/>	指定管理			

事業の目的	対象(誰を・何を)	市内文化財及び失業者
	意図(どういう状態にしたいのか)	文化財専門業者などの文化財に関する知識及び経験豊富な民間企業に、当該資料の散逸・廃棄などによる滅失の危機から保護すること、それと同時に文化財資料調査に長けた人材の育成を委託することにより、行政組織や民間企業における当該業種への雇用の拡大を目的とする。

事業内容	＜平成26年度＞	・市内歴史的資料の所在調査作業 ・デジタルスキャナーによる記録保存作業 ・埋蔵文化財発掘調査現場より出土した資料の整理作業
	＜平成27年度＞	・市内歴史的資料の所在調査作業 ・デジタルスキャナーによる記録保存作業 ・埋蔵文化財発掘調査現場より出土した資料の整理作業

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.30	パート	0.00
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0				
26決算	4,044	2,460	6,504	4,044	0	0	2,460	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	15,757	2,460	18,217	15,757	0	0	2,460				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	業務委託料		4,044		委託料
	合計		4,044		合計		15,757

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-024	事務事業名	文化財資料調査研究(緊急雇用)事業
------	----------------	-------	-------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	雇用者数	当該事業によって採用された人数	人	/	4	4
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					

平成27年度限りで休廃止

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化芸術子どもクラブ開催事業	新規/継続	H26休廃止	整理番号	0130001000 - 025		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	文化振興・国際交流費					
	事業	文化芸術振興事業					
施策分野	2 教育・文化分野	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5607			
個別計画	文化芸術創生基本計画	自治/法定		自治事務	開始年度	平成 22 年度	
			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
実施方法	直営	○		補助・助成	○	その他	
	委託		指定管理				

事業の目的	対象（誰を・何を）	子ども
	意図（どういう状態にしたいのか）	次代を担う子どもたちが文化芸術に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育むことを目的とする。
事業内容	参加対象者：小学生から高校生まで（原則） 対象団体：社団、財団、NPO法人など ※ 年度内に初心者を含む5人以上含む10人以上の参加者で5回以上の活動を市内の公的施設で開催することを原則とする。	
	＜平成24年度＞ 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術子どもクラブの開催について、募集。 審査の結果、キッズダンス、デッサン、陶芸、即興演劇、リコーダークラブ、紙芝居の6団体に対し、助成を決定し、文化芸術子どもクラブを順次開催。 初心者を含む子どもたち141名が参加した。	
	＜平成25年度＞ 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術子どもクラブの開催について、募集。 審査の結果、キッズダンス、デッサン、陶芸、ロボット作りの4団体に対し、助成を決定し、文化芸術子どもクラブを順次開催。 初心者を含む子どもたち92名が参加した。	
	＜平成26年度＞ 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術子どもクラブの開催について、募集。 審査の結果、キッズダンス、デッサン、陶芸、ジャズダンスの4団体に対し、助成を決定し、文化芸術子どもクラブを順次開催。 初心者を含む子どもたち92名が参加した。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）						
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源							
25決算	545	2,075	2,620	0	0	0	2,620	27年度人員配置（人）	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他			
26当初予算	1,548	1,640	3,188	0	0	0	3,188							
26決算	753	1,640	2,393	0	0	0	2,393					再任用	合計	
27当初予算												任期付	合計	
26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額							
	報償費	選考謝礼	20											
	使用料及び賃借料	会場使用料	3											
	負担金補助及び交付金	文化芸術子どもクラブ開催事業補助金	730											
合計			753	合計										

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-025	事務事業名	文化芸術こどもクラブ開催事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	子どもの参加人数	こどもクラブに参加申込みした人数	人	150	105	/
						/
	指標で表せない成果					
こどもたちの文化芸術活動の参加・体験活動の場を提供している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成26年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成26年度限りで休廃止						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化博物館施設整備事業	新規/継続	H26休廃止	整理番号	0130001000 - 026				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計							
	款	総務費							
	項	総務管理費							
	目	文化博物館費							
	事業	文化博物館施設整備事業							
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5608					
個別計画	文化芸術創生基本計画		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度			
			根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則					
			実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
				委託		指定管理	○		

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立文化博物館
	意図（どういう状態にしたいのか）	破損、劣化した施設・設備の改修、更新を行い、施設・設備の安全で効率的な運用を図る。

事業内容	<平成26年度の実績> ①高圧ケーブル更新工事 高圧ケーブルが関西電気保安協会の定期点検で経年劣化により不適合と判定されており、漏電や停電による波及事故を防止するため更新工事を施工した。 工事請負費 3,510千円 負担金 108千円	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
25決算	0	3,660	3,660	0	0	0	3,660	正規	アハハ	その他
26当初予算	4,000	4,920	8,920	0	4,000	0	4,920	再任用	任期付	合計
26決算	3,618	4,920	8,538	0	0	0	8,538			
27当初予算										

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		工事請負費	高圧ケーブル更新工事		3,510		
	負担金補助及び交付金	工事施工に伴う関西電力への負担金	108				
	合計		3,618		合計		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-026	事務事業名	文化博物館施設整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み

指標で表せない成果

- ・文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検や営繕課と実施する市有建築物の定期巡回点検と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。
- ・平成26年度は、高圧ケーブル更新工事を行い、館施設の安全な維持管理に必要な工事を施工することができた。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成26年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成26年度限りで休廃止						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		市民会館施設整備事業		新規/継続	H26休廃止	整理番号	0130001000 - 027	
				分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5608			
	目	市民会館費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度	
	事業	市民会館施設整備事業		根拠法令・要綱等	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市民ホール条例・同条例施行規則			
施策分野		2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営	○	補助・助成	○
個別計画		文化芸術創生基本計画			委託		指定管理	○

事業の目的	対象（誰を・何を）							
	明石市立市民会館、明石市立西部市民会館、明石市立中崎公会堂、明石市立市民ホール（以下「市民会館等」という。）							

事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）							
	破損、劣化した施設・設備の改修、更新を行い、施設・設備の安全で効率的な運用を図る。							

事業内容	<平成26年度の実績> ①市民会館外壁（東面・南面）改修工事 平成23年度に西面・北面の改修工事を実施したので、残る東面・南面について、タイル落下による危険性を未然に防止するため、改修工事を施工した。 工事請負費 38,126千円 ②西部市民会館駐車場管制機器修繕 平成11年の機器設置後更新しておらず、老朽化が激しく、度々故障している駐車場管制機器を一部更新し、利用者の利便性の向上を図った。 修繕料 5,400千円 ③中崎公会堂大広間照明修繕 老朽化した照明器具の更新により、器具の安定稼働及び消費電力の効率化を図り、利用者の利便性の向上を図った。 修繕料 594千円							
------	---	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト （単位：千円）	事業費	人件費 （参考値）	総事業費 （参考値）	財源内訳				27年度人員配置（人）				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
25決算	0	4,000	4,000	0	0	0	4,000	正規	7/11 休	その他		
26当初予算	51,000	4,920	55,920	0	0	0	55,920					
26決算	44,120	4,920	49,040	0	0	0	49,040				再任用	合計
27当初予算											任期付	

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費		西部市民会館駐車場管制機器等修繕		5,994		
工事請負費		市民会館外壁（南面・東面）改修工事	38,126				
合計			44,120	合計			

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-027	事務事業名	市民会館施設整備事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
						\
						\

指標で表せない成果

・文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検や営繕課と実施する市有建築物の定期巡回点検と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。
 ・平成26年度は、市民会館外壁（東面・南面）改修工事を行い、タイル落下による危険性を防止し、安全性を確保することができた。また、不具合のあった西部市民会館駐車場管制機器の一部更新、中崎公会堂の大広間照明更新により、利用者の利便性の向上を図ることができた。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成26年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成26年度限りで休廃止						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	埋蔵文化財保護調査人材育成(緊急雇用)事業			新規/継続	H26休廃止	整理番号	0130001000 - 028		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容				
	款	教育費							
	項	社会教育費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	目	社会教育総務費			連絡先	(078)918-5629			
	事業	埋蔵文化財保護調査人材育成(緊急雇用)事業			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 25 年度	
施策分野	2 教育・文化分野			根拠法令・要綱等					
	2-4 文化芸術の振興								
個別計画	あかし教育プラン			実施方法	直営		補助・助成		その他
					委託	○	指定管理		

事業の目的	対象(誰を・何を)	起業10年以内の市内業者
	意図(どういう状態にしたいのか)	近年、開発事業数の減少や市町村合併に伴う人員削減、地方公共団体における財政難等の事情により、行政発掘にかかわる地方公共団体関係の調査組織は顕著な縮小傾向にある。一方、従来公の機関がおもに当たってきた発掘調査に民間調査組織の参入が進み、開発事業に関わる発掘調査のあり方は多様化しつつある。そのような状況を踏まえ、民間企業において発掘調査等に長けた人材を育成することにより、調査組織の整備や調査の質的維持・向上を目的とする。

事業内容	<平成26年度>	
	埋蔵文化財発掘調査から出土遺物の整理まで文化財保護にあたっての知識・技能を身に着けた人材を育成するため、発掘調査現場や出土資料整理場所で業務にあたる。 ・埋蔵文化財発掘調査現場で調査に従事(記録図面作成等) ・出土資料作成(出土品の洗浄、接合、実測) ・発掘調査報告書作成補助	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
25決算	182	0	182	182	0	0	0	正規	アハハ	その他
26当初予算	14,000	3,280	17,280	14,000	0	0	3,280			
26決算	11,855	3,280	15,135	0	0	0	15,135			
27当初予算								任期付		

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	埋蔵文化財発掘調査に伴う消耗品費	0				
委託料	配置人員賃金・事務経費等	11,855					
	合計		11,855		合計		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-028	事務事業名	埋蔵文化財保護調査人材育成(緊急雇用)事業
------	----------------	-------	-----------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	雇用者数	当該事業によって採用された人数	人	4	4	/
						/
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成26年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成26年度限りで休廃止						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯スポーツ支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 001				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課				
	項	保健体育費		連絡先	(078)918-5624				
	目	保健体育総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	生涯スポーツ支援事業		根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
	2-3 スポーツの振興			委託		指定管理			
個別計画	スポーツ振興計画								

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民							
	意図（どういう状態にしたいのか）	健康で明るく豊かな社会生活を営むために、一般市民から競技者まで幅広く市民等が行うスポーツ活動を支援する。							
事業内容	1 全国大会等に出場する選手等への激励金の支給。 ・全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会等に出場する選手に対し激励金を支給する。 (H24年度から実施、H25年度には支給要綱の見直しを行った。) H24年度支給者数 1,592人 H25年度 786人 H26年度 790人								
	2 全国的規模のスポーツ大会の本市での開催を支援。 ○全国高等学校軟式野球大会の歓迎事業(S56年から) 出場校 毎年16校 明石トーカロ球場で開催 潮騒の塔への大会開催PR懸垂幕の設置。明石公園正面堀沿いに歓迎のぼり旗の設置。 ○大蔵海岸での関西大学ビーチバレー男女選手権大会開催を支援 (H24年度からH27年度とも2日間開催) H24年度参加者 150名 H25年度参加者 166名 H26年度参加者 152名 H27年度参加者 138名 ○第10回全国ビーチサッカー大会開催を支援(H27年度) 各地区の代表等16チームが参加 大蔵海岸で開催								
	3 明石市スポーツ表彰式の開催 ・本市のスポーツの振興に功績のあった方や優秀な成績を収めた選手等を表彰する。 表彰人数 H24年度 199人 H25年度 107人 H26年度 100名								
	4 明石市スポーツ振興基金の積立 ・本市がスポーツを推進していくうえで、今後必要となる支出に備え、基金を積み立てる。(H24年度開始。) H24年度積立額 10,033千円 H25年度積立額 10,026千円 H26年度積立額 10,007千円 H27年度予算額 10,100千円								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	13,739	12,940	26,679	0	0	26	26,653	正規	1.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	16,118	11,380	27,498	0	0	100	27,398	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	13,840	11,380	25,220	0	0	7	25,213	任期付	0.50	合計	1.50
27当初予算	16,210	9,500	25,710	0	0	100	25,610				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	文化・スポーツ振興激励金ほか	2,371		2,371	報償費	文化・スポーツ振興激励金ほか
需用費	スポーツ表彰に係るメダル、消耗品、印刷製本費ほか	755	755	需用費	スポーツ表彰に係るメダル、消耗品、印刷製本費等	906	906
使用料及び賃借料	コピー使用料、会場使用料ほか	290	290	使用料及び賃借料	コピー使用料、会場使用料ほか	310	310
負担金補助及び交付金	関西大学ビーチバレー大会運営補助	150	150	負担金補助及び交付金	関西大学ビーチバレー大会運営補助ほか	400	400
積立金	明石市スポーツ振興基金	10,007	10,007	積立金	明石市スポーツ振興基金	10,100	10,100
その他	ニュースポーツ道具等備品ほか	267	267	その他	ニュースポーツ道具等備品ほか	444	444
合計			13,840	合計			16,210

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-001	事務事業名	生涯スポーツ支援事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
	指標で表せない成果						
<p>全国大会等に出場する選手への激励金の支給やスポーツ賞表彰などの事業は、選手にとって励みとなっており、競技スポーツの振興につながっている。</p> <p>また、ニュースポーツ道具や体力測定器具を貸し出すことにより、スポーツに親しむためのきっかけづくりにつながっている。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>生涯スポーツ支援事業の業務として、全国大会等に出場する選手への激励金の支給やスポーツ賞表彰などを実施している。特にこれらの事業は、選手にとって目標であり励みとなっており、競技スポーツの推進を図るため今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>大蔵海岸においてビーチバレーやビーチサッカーなどの全国的規模のスポーツ大会開催の支援等を行うことは、本市の特性を生かした取り組みとなっている。また、市民が高いレベルのプレーを間近で観戦することにより、スポーツの持つ素晴らしさや醍醐味を味わう機会の提供につながっている。</p> <p>今後も関係団体と連携して、トップレベルの大会誘致に努める。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯スポーツ推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 002				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課				
	項	保健体育費		連絡先	(078)918-5624				
	目	保健体育総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	生涯スポーツ推進事業		根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	2-3 スポーツの振興			委託	○	指定管理			
個別計画	スポーツ振興計画								

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	自らの健康・体力の維持増進を図れるよう、スポーツをする機会等を提供し、競技力の向上にも結び付けていくよう生涯スポーツの推進を図る。特に子どもにはスポーツをする喜びを味わってもらおうよう、体力向上・競技力向上に向けたイベント等を開催する。
事業内容	1 子どもを対象とした体験型スポーツ教室等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが体を動かすことの楽しさや喜びを知ってもらおうとともに、夢と希望を与えるために、豊富な競技経験や指導経験を持つトップアスリート等との交流を通じて、様々なスポーツを楽しんでもらうイベントを開催する。 ○スポーツフェスティバルの開催(年1回) ・トップアスリートによる各種スポーツクリニックと心のコーチングセミナー <li style="padding-left: 20px;">H26年度: 参加者数157名 4種目(卓球、野球、バスケ、ヒップホップダンス)実施 <li style="padding-left: 20px;">元プロバスケ選手や卓球元中国ナショナルチーム代表者などが指導 ○ジュニア自転車競技教室の開催(年6回) ・兵庫県自転車競技連盟の指導者やプロの競輪選手が指導者となり、学童期から自転車競技への興味をもってもらおうことや、正しい自転車の乗り方や態度を学ぶことを目的として、自転車競技教室を開催。 ○ヴィッセル神戸との連携 ・少年サッカークリニック(年2回)、トップ選手による小学校訪問(年1回)、小学校巡回指導(年3回)、親子サッカー教室(年3回)。 ○「集まれ! 野球っ子」の開催(年1回) ・プロ野球OBによる小学5~6年生を対象とした野球教室。 ○スポーツチャレンジ ・明石市体育協会やスポーツ推進委員会に委託し、未就学児を対象とした各種スポーツ教室を開催。
	2 明石市体育協会加盟団体による市民向けスポーツ教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセンなどを会場として開催。 開催種目及び教室数 H24年度 16種目43教室 H25年度 15種目42教室 H26年度 16種目43教室
3 明石市総合体育大会・スポーツ大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・明石市体育協会への委託として明石市総合体育大会と各種目大会を開催 	
4 市民ショートテニス大会の開催(年1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員と連携し、ショートテニス大会を開催。 	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	8,364	12,950	21,314	0	0	0	21,314				
26当初予算	12,317	12,020	24,337	0	0	120	24,217	正規	2.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26決算	7,774	12,020	19,794	0	0	57	19,737	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	10,249	17,440	27,689	0	0	68	27,621	任期付	0.40	合計	2.40

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	看護師謝礼ほか	226		226	報償費	看護師謝礼ほか
需用費	総合体育大会開催に係る表彰状印刷ほか	248	248	需用費	総合体育大会開催に係る表彰状印刷ほか	233	
役務費	傷害保険料ほか	9	9	委託料	総合体育大会等開催委託、ジュニアスポーツ推進事業委託ほか	8,762	
委託料	総合体育大会等開催委託、ジュニアスポーツ推進事業委託ほか	6,834	6,834	役務費	傷害保険料ほか	12	
使用料及び賃借料	スポーツ大会に係る会場使用料等	457	457	使用料及び賃借料	スポーツ大会に係る会場使用料等	649	
				負担金補助及び交付金	小学生駅伝実行委員会への補助	100	
	合計		7,774		合計	10,249	

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-002	事務事業名	生涯スポーツ推進事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	明石市総合体育大会等の参加者数	スポーツをする人の底辺の拡大につながることで、スポーツの振興が図られる。	人	39,755	57,037	55,000
	指標で表せない成果					
大会や教室に市民が参加することで、健康体力の保持増進が図られるとともに、スポーツをする人のすそ野の拡大や、ひいては競技力の向上につながっている。						

	観点（満たしていない観点に「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等				
	<p>生涯スポーツ推進事業は、子どもから高齢者まで全ての市民を対象とし、スポーツをする機会を提供することにより健康・体力の維持増進に努めながらスポーツをする人のすそ野の拡大を図ること、また、一方で各種大会等を開催して本市の競技レベルの向上を図ることを目的としている。特に、子どもの体力が低下傾向にある現状において、スポーツや運動をする楽しさを体験できるイベントを開催することにより、スポーツや運動を継続して行う習慣づくりのきっかけを提供していく必要がある。それらのことを踏まえ、明石市体育協会に対する総合体育大会等の開催事業委託並びに、ヴィッセル神戸及び、兵庫県自転車競技連盟等に対するジュニアスポーツ推進事業委託などを積極的に展開していくこととする。</p> <p>市が事業に関わる意義や、各事業の趣旨などを改めて精査した結果、平成27年度はウォーキング推進行事にかかる委託料を削減するなど歳出削減に努めた。今後も受益者負担の観点から財源の確保を図るとともに、歳出予算の抑制に努める。</p>				

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 003			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
	項	保健体育費			連絡先	(078)918-5624		
	目	保健体育総務費		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 37 年度
	事業	スポーツ推進委員活動事業			根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画		
施策分野	2 教育・文化分野 2-3 スポーツの振興	実施方法	直営	○		補助・助成	その他	
個別計画	スポーツ振興計画		委託	指定管理				

事業の目的	対象（誰を・何を）	スポーツ基本法第32条に基づき設置されたスポーツ推進委員
	意図（どういう状態にしたいのか）	本市におけるスポーツ活動の推進を目的として、スポーツ推進委員が市民に対し、スポーツの実技指導をはじめ、その他のスポーツに関する指導及び助言、さらには地域と行政とのコーディネーターとしての活動ができるように支援するとともに、地域のニーズに対応したスポーツ活動を行うことによりコミュニティづくりに貢献する。
事業内容	1 スポーツ推進委員 委嘱人数 H24年度・H25年度 31名、H26年度・H27年度 29名（任期2年） 報酬月額 6,400円 ・地域でのスポーツ推進のための活動として、実技の指導や自主的なスポーツ教室などを行うほか、本市等が行うスポーツイベントの支援も行う。 （平成26年度は、出前講座、大蔵海岸オープニングイベント、明石市スポーツフェスティバル、小学生駅伝大会等に出務） ・明石市スポーツ推進委員全体会を開催し、それぞれの活動の情報共有を図っている。 （H25年度 4回、H26年度 6回、H27年度 6回） ・より専門的で効果的な活動を行うため、スポーツ推進委員会の中に3つの専門部会（事業部会・研修部会・広報部会）を設置している。各専門部会での事業内容等の検討結果を全体会に提案し、決定している。（H26年度 専門部会22回開催） ・委員の活動状況を知らせ、地域のスポーツの推進につなげていけるよう、広報紙「ときめきスポーツライフ」を年2回発行。 ・ニュースポーツ普及のための組織づくりを行う。（H27年度 明石市ショートテニス協会設立） ・ショートテニス教室の開催 H24年度 4回、H25年度 4回、H26年度 4回、H27年度 3回（予定） ・親子で運動遊び体験の開催 H24年度 1回、H25年度 1回、H26年度 2回、H27年度 3回（予定） ・体力測定会 H27年度 3回（予定）	
	2 スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会等に参加 ・東、北播磨地区スポーツ推進委員研修会 ・兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会 ・生涯スポーツ指導者地区別研修会（東・北播磨地区）等	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	2,815	9,910	12,725	0	0	0	12,725	正規	1.00	パート	0.00
26当初予算	2,851	11,200	14,051	0	0	0	14,051	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	2,537	11,200	13,737	0	0	0	13,737	任期付	0.10	合計	1.10
27当初予算	2,793	8,460	11,253	0	0	0	11,253				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報酬	スポーツ推進委員報酬	2,228		報酬	スポーツ推進委員報酬	2,228
旅費	スポーツ推進委員旅費	145	旅費	スポーツ推進委員旅費	260		
需用費	広報紙印刷製本費ほか	15	需用費	広報紙印刷製本費ほか	87		
役務費	スポーツ安全保険料	54	役務費	スポーツ安全保険料	58		
使用料及び賃借料	全体会会場使用料	6	使用料及び賃借料	全体会会場使用料	10		
負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員連絡協議会分担金ほか	89	負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員連絡協議会分担金ほか	150		
合計			2,537	合計			2,793

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-003	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
指標で表せない成果							
スポーツ推進委員が、各地域(小学校区)で取り組んでいるニュースポーツ教室や体力測定会などを通して指導助言及び、連絡調整を行うことで、地域スポーツの推進が図られている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
国における「スポーツ基本法」「スポーツ基本計画」や本市における「明石市スポーツ振興計画」において、スポーツ推進委員は重要な位置づけであることから、今後もその活動を支援していくこととする。 各小学校区に配置されたスポーツ推進委員が、自主的に連携して小学校区コミセンを会場としたニュースポーツ教室や親子で楽しむスポーツ体験会などを実施することにより、市内各地域のスポーツ活動の推進に努める。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	コミセン管理運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 001			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費						
	項	総務管理費						
	目	コミュニティ費						
	事業	コミセン管理運営事業						
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター				
	2-5 生涯学習の推進		連絡先	(078)918-5600				
個別計画	生涯学習ビジョン		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
			根拠法令・要綱等	明石市立コミュニティ・センター条例、同施行規則				
実施方法			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

事業の目的	対象（誰を・何を）	地域住民、コミセン利用者 14中学校区コミセン（16施設）
	意図（どういう状態にしたいのか）	生涯学習活動に重点を置いた拠点施設として管理運営を行う。

事業内容	<平成25年度・平成26年度>	
	① 施設の維持管理運営 ・修繕実施件数 平成25年度 84件 平成26年度 104件	② 学習活動の支援 ・登録サークルに活動場所を提供する等の学習支援を行った
	③ 生涯学習、地域活動等の場の提供	
	④ 生涯学習機会の提供 ・高齢者大学、市民講座等の実施（生涯学習推進事業の委託料による） ※（コミセン利用件数（延べ）） 平成25年度 30,508 件 平成26年度 30,139件 （コミセン利用人数（延べ）） 平成25年度 510,744 人 平成26年度 510,599人	
	<平成27年度>	
	① 施設の維持管理運営	② 学習活動の支援
	③ 生涯学習、地域活動等の場の提供	④ 生涯学習機会の提供 ・高齢者大学、市民講座等の実施（生涯学習推進事業の委託料による） ※（コミセン利用件数（延べ）） 平成27年度見込み 30,000件 （コミセン利用人数（延べ）） 平成27年度見込み 510,000人

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	25,916	81,230	107,146	0	0	4,963	102,183	正規	1.10	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	30,257	81,120	111,377	0	0	4,375	107,002	再任用	6.00	その他	55.00
26決算	28,286	81,120	109,406	0	0	4,741	104,665	任期付	0.50	合計	62.60
27当初予算	30,720	80,220	110,940	0	0	4,522	106,418				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	コミセン所長・職員近接地旅費	223		223	旅費	コミセン所長・職員近接地旅費
需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等	16,481	16,481	需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等	17,154	17,154
役務費	コミセン電話料金等	1,042	1,042	役務費	コミセン電話料金等	1,194	1,194
委託料	コミセン運営業務委託(14コミセン)等	7,605	7,605	委託料	コミセン運営業務委託(14コミセン)等	8,075	8,075
使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等	2,867	2,867	使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等	3,907	3,907
その他	報償費、負担金補助金及び交付金	68	68	その他	報償費、負担金補助金及び交付金	130	130
	合計		28,286		合計		30,720

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-001	事務事業名	コミセン管理運営事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	コミセン利用件数 (延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した件数を成果指標とする。	件	30,508	30,139	30,000
	コミセン利用人数 (延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した人数を成果指標とする。	人	510,744	510,599	510,000
指標で表せない成果						
身近な場所に気軽に集まることのできる拠点があることにより、生涯学習活動を身近に取り入れる環境が構築されている。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性					×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
<p>中学校区コミセンは、高齢者大学や市民講座など地域住民に学習機会を提供するとともに、コミセン登録団体等を中心に自主的な文化・スポーツ活動を通じた生涯学習の場としての役割を担うほか、災害時等の避難施設として機能している。さらに、地域の諸行事において地域住民が集う施設として親しまれ利用されているものの、経年劣化等により施設・設備の維持管理経費の増高が見込まれる。</p> <p>今後は、全庁的な受益者負担の考え方に基づき、講座受講料やコミセン登録団体の施設使用料減免措置等の適正化について検討を進める。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	コミセン施設整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 002			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5600			
	目	コミュニティ費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度	
	事業	コミセン施設整備事業		根拠法令・要綱等	明石市立コミュニティ・センター条例、同施行規則			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	2-5 生涯学習の推進			委託	○	指定管理		
個別計画	生涯学習ビジョン							

事業の目的	対象（誰を・何を）	14中学校区コミセン(16施設)
	意図（どういう状態にしたいのか）	生涯学習活動の拠点施設として十分機能するよう、老朽化対応や耐震化など安全面や機能向上を目指し、施設・設備を整備する。
事業内容	<平成25年度>	
	・空調機更新、誘導灯ランプ交換等の施設・設備の整備	
	<平成26年度>	
・江井島コミセン講堂床面長尺シート全面張替		
・空調機更新(野々池、望海、大久保北)等の施設・設備の整備		
<平成27年度>		
・衣川コミセン玄関底部修繕		
・空調機更新等の施設・設備の整備		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	2,672	36,980	39,652	0	0	0	39,652	正規	0.80	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	7,441	36,900	44,341	0	4,900	0	39,441	再任用	6.20	その他	10.00
26決算	6,589	36,900	43,489	0	0	0	43,489	任期付	0.10	合計	17.10
27当初予算	3,850	36,900	40,750	0	0	0	40,750				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		工事請負費	江井島コミセン講堂床面等改修工事		4,071		需用費
	備品購入費	空調機更新等	2,518		備品購入費	空調機更新等	2,650
	合計		6,589		合計		3,850

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-002	事務事業名	コミセン施設整備事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	耐震診断、耐震改修した建物数の割合	昭和56年以前に建築されたコミセンで耐震診断、耐震改修したコミセン施設数を安全面の向上を図った成果指標とする。	完了施設数/対象施設数	3/5	3/5	3/5
	指標で表せない成果					
コミセン利用者に最も求められているものは、安全で快適に施設を利用できることであり、安全面の向上と機能充実を図ることで、利用者の満足度は向上している。						

	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等				
	中学校区コミセンは、高齢者大学や市民講座など地域住民に学習機会を提供するとともに、コミセン登録団体等を中心に自主的な文化・スポーツ活動を通じた生涯学習の場としての役割を担うほか、災害時等の避難施設として機能している。さらに、地域の諸行事において地域住民が集う施設として親しまれ利用されているものの、経年劣化等により施設・設備の維持管理経費の増高が見込まれる。 今後、施設利用者の安全性確保や利用者サービスの維持向上を図るため適宜、施設・設備の修繕、更新を行うとともに、未耐震化施設である錦城コミセンの改修に向けた取り組みを進める。				

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習センター運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 003									
		分割/統合												
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容											
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター									
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5600								
	目	生涯学習センター費				自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度					
	事業	生涯学習センター運営事業					根拠法令・要綱等 明石市生涯学習センター条例、同施行規則							
施策分野	2 教育・文化分野	実施方法	直営								<input type="radio"/>	補助・助成		その他
	2-5 生涯学習の推進		委託	<input type="radio"/>							指定管理			
個別計画	生涯学習ビジョン													

事業の目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センター（男女共同参画センター・消費生活センター・子育てプレイルーム・子ども図書館除く）
	意図（どういう状態にしたいのか）	多くの市民が生涯学習に取り組み、市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、使いやすい貸し館運営を行い、提供するサービスを充実させる。

事業内容	<平成25年度>	
	① 学習センター貸し館運営	・学習室1(120人)、2(81人)、3(45人)、4(12人)、パソコン室(25人)、調理実習室(25人)、工芸室(25人)、和室・茶室(29人)、ホール(293人)、リハーサルスタジオ(20人)、音楽練習室1,2(12人)の貸し館を行った。 ・利用件数 7,351件、平均利用率 72.2%、利用者数 105,716人 ・調理実習室運用の見直しやリハーサルスタジオに鏡を設置するなど、利用者サービスの向上を図った。
	② 学習情報の提供	・学習情報誌「わらしのわ」を発行した(年4回、3500部)。 ・生涯学習センターホームページにて貸し館の状況や企画事業の情報提供を行った。 ・学習情報コーナーにて、書籍・DVD・インターネットの閲覧サービスを行った。
	<平成26年度> ※下記変更以外は平成25年度とほぼ同じ。	
	① 学習センター貸し館運営	・利用件数 7,408件、平均利用率 72.0%、利用者数 110,829人
	② 学習情報の提供	
	<平成27年度>	
	① 学習センター貸し館運営	
	② 学習情報の提供	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	10,899	21,480	32,379	0	0	10,900	21,479	正規	1.40	パート	0.00
26当初予算	11,134	20,180	31,314	0	0	10,804	20,510	再任用	0.30	その他	0.00
26決算	10,681	20,180	30,861	0	0	10,681	20,180	任期付	3.60	合計	5.30
27当初予算	11,389	21,860	33,249	0	0	10,892	22,357				

区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品費(事務用品等)、舞台用電球・学習情報誌等	2,618		需用費	消耗品費(事務用品等)、舞台用電球・学習情報誌等	2,603
役務費	ホール用人件費・ピアノ調律代 学習室5インターネット回線費	182		役務費	ホール用人件費・ピアノ調律代 学習室5インターネット回線費	374
委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール照明保守・パソコン室機器保守等	6,521		委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール照明保守・パソコン室機器保守等	6,641
使用料及び賃借料	公用車駐車場借り上げ料、コピー使用料	804		使用料及び賃借料	公用車駐車場借り上げ料、コピー使用料	1,138
その他	旅費、備品購入費等	556		その他	旅費、備品購入費等	633
合計		10,681		合計		11,389

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-003	事務事業名	生涯学習センター運営事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)	%	53.2	53	54
	利用者数	貸し館の年間利用者数	人	105,716	110,829	111,000
指標で表せない成果						
センターの利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
施設利用者のサービス向上に努め、施設の更なる利用促進を図る。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	分室運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 004		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	生涯学習センター費					
	事業	生涯学習センター運営事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	2-5 生涯学習の推進		連絡先	(078)918-5600			
個別計画	生涯学習ビジョン		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
			根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
実施方法			直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センター分室
	意図（どういう状態にしたいのか）	分室において多くの市民が生涯学習に取り組み市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、施設設備の状態を良好に保ち、使いやすい貸し館運営を行う。

事業内容	<平成25年度>	
	① 貸し館運営	・大会議室(250人)、和室(50人)、実習室(30人)、研修室(35人)、視聴覚室(35人)、小会議室(20人)の貸し館運営を行った。
	② 学習活動の支援	・登録サークルに活動場所を提供するなどの学習支援を行った。 ※①、②を合わせた利用件数等 延件数3,471件、延人数57,917人
	③ 修繕	・事務室ドアロック取替、和室戸車交換、リソグラフ修理、ADSL配線工事 ほか
	<平成26年度> ※下記変更以外は平成25年度とほぼ同じ。	
	① 貸し館運営	
	② 学習活動の支援	※①、②を合わせた利用件数等 延件数3,330件、延人数55,187人
	③ 修繕	・都市ガス警報器交換修繕、視聴覚室カーテン修繕
	<平成27年度>	
	① 貸し館運営	
	② 学習活動の支援	
	③ 修繕	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	799	7,845	8,644	0	0	799	7,845	正規	0.40	パート	0.00
26当初予算	794	8,020	8,814	0	0	794	8,020	再任用	0.10	その他	5.00
26決算	600	8,020	8,620	0	0	600	8,020	任期付	0.00	合計	5.50
27当初予算	954	8,020	8,974	0	0	867	8,107				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費(事務用品等)、修繕料	245		需用費	消耗品費(事務用品等)、修繕料	514
役務費	電信電話料・ピアノ調律代	173	役務費	電信電話料・ピアノ調律代	210		
使用料及び賃借料	コピー使用料等	137	使用料及び賃借料	コピー使用料等	130		
備品購入費	パーテーション	45	備品購入費	会議室机	100		
	合計		600	合計	954		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-004	事務事業名	分室運営事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)	%	58.7	56	58
	利用者数	貸し館の年間利用者数	人	57,917	55,187	57,000
指標で表せない成果						
分室の利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性					×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
明石駅前再開発事業に伴う立図書館移転後のセンター分室のあり方について今後の方向性を整理・検討する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 005		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	生涯学習センター費					
	事業	生涯学習センター運営事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	2-5 生涯学習の推進			連絡先	(078)918-5600		
個別計画	生涯学習ビジョン		自治/法定		自治事務		開始年度
				根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則		
		実施方法	直営		○	補助・助成	その他
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センターが保有する視聴覚教材、機材
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の多様な学習需要に応えるため、視聴覚教材を充実させ、機材を整備し、利用しやすい環境をつくる。

事業内容	<平成25年度>
	① 教材、機材の貸し出し ・幼稚園や子ども会、自治会などに16ミリフィルムやビデオ教材、及びプロジェクターやスクリーンなど機材の貸し出しを行った。 年間貸し出し件数 教材51件(学校:29件、その他22件)、機材34件(学校:19件、その他:15件) ・教材の新規購入(DVD 7本を購入)
	<平成26年度> ※下記変更以外は平成25年度とほぼ同じ。 ① 教材、機材の貸し出し ・年間貸し出し件数 教材41件(学校:25件、その他10件)、機材16件(学校:9件、その他:7件) ・教材の新規購入(DVD 5本を購入)
<平成27年度>	① 教材、機材の貸し出し及び教材の新規購入

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	398	1,350	1,748	0	0	0	1,748	正規	0.10	パート	0.00
26当初予算	697	1,260	1,957	0	0	0	1,957	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	311	1,260	1,571	0	0	0	1,571	任期付	0.20	合計	0.30
27当初予算	530	1,340	1,870	0	0	0	1,870				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費(ビデオ教材購入費等)	311		需用費	消耗品費(ビデオ教材購入費等)・視聴覚機材補修	530
	合計		311	合計	530		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-005	事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	貸出件数	教材(DVD、ビデオ等)の年間貸出件数	件	51	41	50
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×		×		×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	<p>教材等の貸出は、市内の学校等(小中学校・幼稚園・保育所・青少年教育課)がその大半を占めるなど、貸出先が固定化する傾向にあるとともに貸出件数も年々減少化傾向にある。</p> <p>今後の方向性としては、教材の新規購入経費の更なる縮小を含め事業のあり方を検討する。</p>					

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習センター維持管理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 006			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5600		
	目	生涯学習センター費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 14 年度
	事業	生涯学習センター維持管理事業						
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等	生涯学習センター条例、同施行規則				
	2-5 生涯学習の推進			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
個別計画	生涯学習ビジョン				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>

事業の目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センターの施設・設備（アスパア明石北館の7階～10階部分、6209㎡。男女共同参画センター・消費生活センター・子育てプレイルーム・子ども図書館含む）
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民がセンターを安全・快適に利用できるよう、また、職員が効率的に執務できるよう、センターの施設・設備の状態を良好に保つ。

事業内容	<平成25年度>	<ul style="list-style-type: none"> ① 保守・点検 <ul style="list-style-type: none"> ・中央監視盤、AVシステム、空調装置について、年1回の保守点検を実施した。 ・給水式冷温機(冷房)について、年2回の保守点検を実施した。 ・電話交換機、エアコン空調機について、月1回の保守点検を実施した。 ② 修理・修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・部屋鍵用磁気カードリーダー交換・修理、中央監視盤部品交換、空調機フィルター交換、空調冷却ファン交換 など28件 ③ インフラ設備維持 <ul style="list-style-type: none"> ・電気・ガス・水道・館内イントラ回線・電話回線の供給を行った。 ・建物(アスパア)共用部分等の維持管理費を負担した。 ④ 清掃・・・年1回の定期清掃と開館日の日常清掃を行った。 ⑤ 警備・・・開館日の夜間(16:30～22:30)の見回り警備と利用者案内を行った。 深夜(22:00～8:00)及び休館日の機械警備を行った。
	<平成26年度> ※下記変更以外は平成25年度とほぼ同じ。	<ul style="list-style-type: none"> ① 修理・修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・室外機インバーター圧縮機交換、空調機フィルター交換、ホールサイドスピーカー修繕 など17件
	<平成27年度> ※下記変更以外は例年とほぼ同じ。	<ul style="list-style-type: none"> ① 修理・修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・ホール足元照明修繕、その他館内設備機器修繕

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	83,960	9,660	93,620	0	0	15,397	78,223	正規	1.00	ｱｽﾊﾟｱ	0.00
26当初予算	86,927	9,560	96,487	0	0	15,764	80,723	再任用	0.40	その他	0.00
26決算	79,456	9,560	89,016	0	0	16,412	72,604	任期付	0.00	合計	1.40
27当初予算	96,463	9,560	106,023	0	0	15,581	90,442				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	消耗品等(管球等)・施設設備修繕・ガス料金	4,038		需用費	消耗品等(管球等)・施設設備修繕・ガス料金	8,016
委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	19,833	委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	21,164		
使用料及び賃借料	施設予約システムリース料・NHK・ケーブルTV利用料等	1,588	使用料及び賃借料	施設予約システムリース料・NHK・ケーブルTV利用料等	1,589		
備品購入費	会議用テーブル、ワイヤレスマイク	140	備品購入費	施設維持管理用備品一式・貸館用監視カメラ更新	170		
負担金補助及び交付金	アスパア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	53,857	負担金補助及び交付金	アスパア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	65,524		
合計			79,456	合計			96,463

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-006	事務事業名	生涯学習センター維持管理事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	修繕件数	施設設備を安全・快適に供用するため年間修繕件数を指標とする。	件	28	17	20
	事故件数	設備の不具合による年間事故件数	件	0	0	0
	指標で表せない成果					
維持管理業務の一部を委託化することにより、業務の効率化(コストや職員の負担軽減)が図られている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成13年の竣工以来14年が経過しており経年劣化に対処するため、アスパア明石北館・南館管理組合で協議を重ね、平成28年度中の完了を目途に大規模修繕の実施を決定した。これに伴い本市も応分の費用負担を予定している。 今後とも、「市民(利用者)がセンターを安全・快適に利用できる」よう施設・設備を維持していく。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 007				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5600			
	目	生涯学習センター費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	事業	生涯学習推進事業							
施策分野	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則					
個別計画	生涯学習ビジョン			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
					委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民がいつでも、どこでも、多種多様な生涯学習に取り組むことができるようにし、さらに一人ひとりの市民が学んだことを地域に還元する。

事業内容	<平成25年度> ①講座・イベント等の実施(生涯学習センター、分室、中学校区コミセンで開催) 主催講座の延べ受講者数+コミセン高齢者大学・シニアカレッジの学生数の合計は約4,500名 あかし楽講座(歴史講座等)、あかし市民企画みんなの講座(市民企画講座)、あかし“ジモとも”セミナー、クッキングアカデミー、シニアカレッジ(委託事業)、コミセン高齢者大学(委託事業)などを実施。 ・事業の見直しによる部分的な縮小…パフォーマンスアカデミーを休止、ジュニアアカデミーをあかし楽講座に統合。 ・事業内容の見直し、刷新 市民カレッジゆうゆう塾をあかし市民企画 みんなの講座に刷新。講座終了後の講師活動を支援するため「カタログ」を作成・配布。 スキルアップ社会人交流セミナーをあかし“ジモとも”セミナーに刷新。 あかし楽講座に子ども対象のこどもあかし楽講座を追加。次世代を担う子どもが明石の歴史、自然、文化等を知る機会を提供する。 クッキングアカデミーの内容見直し。明石産の食材(魚、野菜、果物)にこだわった料理教室を実施。 ②生涯学習相談…窓口、電話で市民に生涯学習情報を提供。年間相談件数50件程度。 ③生涯学習指導者の育成 ・生涯学習研修会(年2回)を実施 ④コミセンサークル活動への支援 ・明石コミセンサークル連絡協議会の活動支援
	<平成26年度>※下記変更以外は、平成25年度とほぼ同じ ③生涯学習指導者の育成 ・明石生涯学習指導者会の20周年行事(作品展、ステージ発表、講演会等)を明石コミセンサークル連絡協議会などの協力のもとに実施。
	<平成27年度>※下記変更以外は、平成25年度とほぼ同じ ①講座・イベント等の実施 ・クッキングアカデミーの休日開催

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	10,530	50,540	61,070	0	0	670	60,400	正規	3.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	11,635	43,360	54,995	0	0	588	54,407				
26決算	11,087	43,360	54,447	0	0	537	53,910	再任用	4.00	その他	0.00
27当初予算	11,831	44,000	55,831	0	0	1,083	54,748	任期付	1.60	合計	8.80

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	講師等謝礼	1,471		27年度当初予算事業費明細	報償費	講師等謝礼
需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	375	需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	344		
役務費	保険料、委託料	14	役務費	保険料、委託料	217		
委託料	シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	9,222	委託料	シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	9,298		
負担金補助及び交付金	研修参加負担金	5	負担金補助及び交付金	研修参加負担金	16		
合計			11,087	合計			11,831

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-007	事務事業名	生涯学習推進事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	講座受講者数等	センター主催講座等の受講者数、シニアカレッジ、コミセン高齢者大学の入学者数を集計	人	4,511	4,442	4,500
	指標で表せない成果					
市民企画型講座では、市民が自分の特技・技能・知識を活かして何かをはじめるきっかけになるとともに、生涯学習を始める機会を提供している。また、シニアカレッジで学んだ市民が、コミセンで「出前講座」を行うなど、個々の学びを広げる活動を行っている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性					×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
住民負担の公平性の観点から受益者負担の原則に立ち返り、自主事業等における受講料等徴収について検討する。 3つの高齢者学習機会（コミセン高齢者大学、明石シニアカレッジ、あかねが丘学園）について、利用者のニーズや施設の老朽化等の状況を踏まえ、あり方を検討する。 「市民一人ひとりの学びが、それぞれの人生を充実させ、さらには、学びにより力をつけた市民がボランティアやまちづくり等、地域で様々な活動を行い、明石のまちを元気にする。」という生涯学習推進のねらいを実現するために、「地元愛」を育む事業、「地域活動」・「社会参加」に繋がる事業、生涯学習を始めるきっかけとなる事業を実施する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	あかねが丘学園運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130102000 - 001								
		分割/統合											
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容										
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園								
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5415							
	目	あかねが丘学園費				自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度				
	事業	あかねが丘学園運営事業					根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園要綱					
施策分野		2 教育・文化分野						実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
		2-5 生涯学習の推進		委託					<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
個別計画		生涯学習ビジョン											

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市在住の60歳以上の人
	意図（どういう状態にしたいのか）	高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者を養成できるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。

事業内容	あかねが丘学園は、3年間の系統立てた学習プログラムをもとに、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につけた地域社会活動指導者を養成する。	
	【平成25年度】	①本校 コース: 景観園芸・生活ふくし・ふるさとコミュニティ・音楽交流・健康スポーツ交流(各学年定員165人) 学生数: 300人(1学年124人、2学年78人、3学年98人) 学習日: 月曜 クラブ活動、火曜 地域活動支援、水曜 3学年、木曜 2学年、金曜 1学年 ②地域活動支援日は、卒業生と在校生の地域活動を支援するための学習日で、公開講座、各種講習・講座などの実施と地域活動グループへの施設設備の開放と、相談・助言を行なっている。 ・その他、学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。 ③学習スケジュール: 授業は週1回、年間35日程度、午前: 共通講座(学年全体で受講)、午後: 専攻コース(各専攻コースで受講) 主な年間スケジュール: 4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2~3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式 ④地域活動グループ数: 85、地域活動実施回数: 1266回
	【平成26年度】	・事業内容は、1学年の学習拠点を生涯学習センターに移し、同学年の専攻コースを5コースから4コースに再編して実施した。 コース: 2・3学年は、25年度と同様。 1学年は、景観園芸・健康ライフ・ふるさとコミュニティ・音楽交流(学年定員100人) 学習日: 月曜 1学年・地域活動支援、火曜 クラブ活動、水曜 3学年、木曜 2学年 学生数: 298人(1学年109人、2学年113人、3学年76人)
	【平成27年度】	・事業内容は、1・2学年は生涯学習センターで、3学年は本校(松が丘)で以下のとおり実施する。 コース: 3学年は、26年度(本校・松が丘)と同様。 1・2学年は、26年度(生涯学習センター)と同様 学習日: 月曜 1・2学年・地域活動支援、火曜 クラブ活動、水曜 3学年、木曜 地域活動支援 学生数: 297人(1学年102人、2学年95人、3学年100人)

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	18,758	11,330	30,088	0	0	5,637	24,451	正規	0.50	パート	0.00
26当初予算	23,256	14,000	37,256	0	0	5,244	32,012	再任用	0.00	その他	2.50
26決算	14,634	14,000	28,634	0	0	4,966	23,668	任期付	1.30	合計	4.30
27当初予算	20,700	17,690	38,390	0	0	5,217	33,173				

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	7,539	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	8,300
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	2,040	需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	2,182
役務費	通信運搬費、ピアノ調律料	184	役務費	通信運搬費、ピアノ調律料	802
委託料	社会教育コーディネーター委託料	3,511	委託料	社会教育コーディネーター委託料	7,000
備品購入費	電子キーボード、ビニールハウス、ノートパソコン、プロジェクター	774	備品購入費	パソコン、物置等購入	1,700
その他		586	その他		716
合計		14,634	合計		20,700

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130102000-001	事務事業名	あかねが丘学園運営事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	124	109	102
	ボランティア実施状況	あかねが丘学園のボランティアグループのボランティア実施回数(西分校を含む)	回数	1,266	1,103	1,100
指標で表せない成果						
ボランティア活動の活動先は、高齢者施設、保育所、幼稚園、放課後児童クラブをはじめ市主催のイベント等多彩である。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×	×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・専攻コースの設定やカリキュラムの見直し等、市民のニーズに応える魅力ある運営をしていく。 ・積極的に行っている広報活動を継続発展させていく。 ・平成26年4月から新1学年の学習場所を生涯学習センターに順次移し、専攻コースを5コースから4コースに再編し学習カリキュラム等見直しをしている。 ・平成28年度には移転が完了し、全学年が生涯学習センターで授業を行う予定。 						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130102000 - 002		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	あかねが丘学園費					
	事業	あかねが丘学園維持管理事業					
事業所管課		文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園					
連絡先		(078)918-5415					
自治/法定		自治事務		開始年度	昭和 56 年度		
根拠法令・要綱等		明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園要綱					
実施方法		直営	○	補助・助成	その他		
		委託		指定管理			
施策分野		2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進					
個別計画		生涯学習ビジョン					

事業の目的	対象（誰を・何を）	あかねが丘学園の施設、設備
	意図（どういう状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の運営を円滑に行ない、学生が学習等で学園を安全・快適に使用できるように維持管理する。 ・市民が学園を安全・快適に利用できるよう、また職員が効果的に執務できるよう学園施設・設備の状態を良好に保つ。

事業内容	①施設・設備の保守・点検・修理	①施設・設備の保守・点検・修理
	②電気・水道・ガス施設点検、樹木剪定	②電気・水道・ガス施設点検、樹木剪定
	③清掃 高架水槽定期清掃、屋内・屋外清掃委託	③清掃 高架水槽定期清掃、屋内・屋外清掃委託
	④警備 機械警備委託	④警備 機械警備委託

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	10,787	8,450	19,237	0	0	0	19,237				
26当初予算	11,171	8,760	19,931	0	0	0	19,931	正規	0.30	パート	0.00
26決算	10,405	8,760	19,165	0	0	0	19,165	再任用	0.00	その他	1.90
27当初予算	12,189	10,000	22,189	0	0	0	22,189	任期付	0.40	合計	2.60

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	施設設備補修費、光熱水費(電気料金、ガス料金、水道料金)	7,855		27	需用費	施設設備補修費、光熱水費(電気料金、ガス料金、水道料金)
役務費	簡易専用水道検査手数料	16	27	役務費	簡易専用水道検査手数料	19	
委託料	設備関係保守点検費用、PCB廃棄物処理費用	2,520	27	委託料	設備関係保守点検費用、PCB廃棄物処理費用	3,721	
負担金補助及び交付金	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	14	27	負担金補助及び交付金	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	21	
合計			10,405	合計			12,189

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130102000-002	事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
	指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・日常及び定期など計画的な点検等で不具合が見つかった場合や修繕箇所が発生した場合、できるだけ速やかに対応するようにしている。 							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・あかねが丘学園は明石市第5次長期総合計画及び生涯学習ビジョン、生涯学習推進プランにも基づいて事業を実施している施設で、その維持管理については市が主体となって実施する必要がある。 ・学園を運営する上で、施設・設備を快適に使用できるよう維持管理することは不可欠である。 ・施設の老朽化は否めないが、施設・設備を適宜補修しているため概ね良好に維持されている。 ・日常の清掃(教室、廊下、剪定、草刈、グラウンド整備など)は学生が実施するなど経費の節減に努めている。 ・今後も施設・設備の補修については、不具合箇所の早期発見・早期補修が経費の削減につながるため迅速な対応に努める。 ・平成28年度以降については、アスピア明石にある生涯学習センターに移転する。 						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		あかねが丘学園西分校運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130102000 - 003		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5415				
	目	あかねが丘学園費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 21 年度		
	事業	あかねが丘学園西分校運営事業	根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園要綱				
施策分野		2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進	実施方法		直営	○	補助・助成	その他
個別計画		生涯学習ビジョン	委託			指定管理		
事業の目的	対象（誰を・何を） 明石市在住の60歳以上の人							
	意図（どういう状態にしたいのか） 高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者を養成できるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。							
事業内容	あかねが丘学園西分校は、2年間の系統立てた学習プログラムをもとに、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につけた地域社会活動指導者を養成する。 【平成25年度】 ①分校 コース：健康科学・陶芸文化(各学年定員51人) 学生数：64人(1学年27人、2学年37人) 学習日：火曜 1学年、金曜 2学年 ②学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。 ③学習スケジュール：授業は週1回、年間35日程度、午前：共通講座(学年全体で受講)、午後：専攻コース(各専攻コースで受講) 主な年間スケジュール：4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2～3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式 【平成26年度】 ・事業内容は、1学年の学習日を火曜から水曜に変更し、それ以外は25年度と同様に実施した。 学生数：45人(1学年25人、2学年20人) 【平成27年度】 ・事業内容は、専攻コースの名称を「健康科学」から「健康スポーツ」に変更し、それ以外は26年度と同様に実施する。 学生数：39人(1学年26人、2学年13人)							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	13,993	5,220	19,213	0	0	960	18,253	正規	0.20	パート	0.00
26当初予算	9,157	5,540	14,697	0	0	1,200	13,497	再任用	0.00	その他	1.60
26決算	7,667	5,540	13,207	0	0	675	12,532	任期付	0.30	合計	2.10
27当初予算	9,157	8,010	17,167	0	0	1,050	16,117				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	2,449		2,449	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)
旅費	市内出張旅費	144	144	旅費	市内出張旅費	150	
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	603	603	需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	745	
役務費	通信運搬費	64	64	役務費	通信運搬費	80	
委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室、社会教育コーディネーター委託	3,936	3,936	委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室、社会教育コーディネーター委託	3,850	
使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	471	471	使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	1,110	
	合計		7,667		合計		9,157

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0130102000-003	事務事業名	あかねが丘学園西分校運営事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	27	25	26
	指標で表せない成果					
<ul style="list-style-type: none"> ・本校が市東部にあるため、西部地区の市民ニーズに対応している。 ・地域により密着したボランティア活動を展開している。 						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×	×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・入学者数は、定員に満たないため学生の募集については、学園情報の継続的な発信や公開講座・オープンキャンパスの開催など積極的なPRを展開していくと共に、コースの名称変更やカリキュラムの見直し等を実施したが、入学者の増加はならなかった。今後、西分校のあり方について検討が必要である。 						